

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する主な経過

※ 総合開発特別委員会（平成20年3月13日）以降の経過

3月21日（金）

○「第9回苫小牧市在日米軍再編問題対策会議」を開催し、千歳基地への訓練移転結果等の報告を行う。

3月25日（火）

○「苫小牧市航空機騒音対策協議会」を開催し、千歳基地への訓練移転結果等の報告を行う。

3月28日（金）

○「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会」が開催され、千歳基地における訓練移転の実施概要報告と検証を行う。

4月4日（金）

○「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」事前提出質問の回答がされる。

4月23日（水）

○「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」幹事会を開催し、検証と今後の対応策の検討を行う。

5月7日（水）

○平成20年3月13日開催の総合開発特別委員会懸案事項及び「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書」を議員へ送付。

5月9日（金）

○「苫小牧市航空機騒音対策協議会」を開催し、「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書」の説明と再編交付金事業の協議を行う。

5月21日（水）

○町内会連合会及び商工会議所へ「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書」を送付。

6月20日（金）

○米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）に関する平成20年度計画の通知がされる。

第5回定例会

総合開発特別委員会 懸案事項について

平成20年3月13日開催

1. 再編交付金事業の対象地域の緩和について

特別措置法では「駐留軍等の再編により影響を受ける住民の生活の安定に資するよう適切に配慮された地域において行う事業」となっており、原則、航路下三地区としておりましたが、事案ごとに協議をしております。

2. 在日米軍に係るFA18戦闘機事故状況について

千歳基地への訓練移転に関する現地説明会における、事前提出の質問事項としておりましたが、北海道防衛局より、4月4日に別紙（在日米軍FA-18による航空機関連事故等）のとおり回答されております。

3. 千歳基地への訓練移転に関する現地説明会における「慣熟飛行」の説明について

慣熟飛行の定義をはっきりさせて、誤解のないようにする必要があると考えております。当日の説明では、一般的な広い意味での慣熟飛行というのは否定されておられません。低空飛行、超音速、急上昇といった慣熟訓練は予定していないとの説明だったと記憶しておりますが、低空飛行、超音速、急上昇だけが慣熟飛行ではないものと思いますので、次回以降、お互いに誤解の無いよう定義をはっきりし、対応させていただきたいと考えております。（平成20年3月28日開催の連絡協議会にて、北海道防衛局が回答）

4. 千歳基地への訓練移転に関する現地説明会における、事前提出の質問事項の文書回答について

北海道防衛局より、4月4日に別紙（米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会質問回答）のとおり回答されております。

5. FA18の千歳基地への飛来途中のトラブルで厚木基地に戻った原因について

米軍からは、パイロットが飛行中に、もう一度戻って点検をした方が良いと判断し、厚木基地へ戻り、整備員が整備点検した結果、問題はないとのことで、翌朝、千歳基地へ飛来したと聞いております。（平成20年3月28日開催の連絡協議会にて、北海道防衛局が回答）

6. 平成20年度の共同訓練計画の公表について

平成20年度の訓練計画については、これまで日米間において協議を進めてきているところではありますが、訓練移転費を日本側で負担するための根拠となる新たな特別協定が、現在、国会において審議中であることから、訓練計画を確定、また、公表できる状況にありません。

いずれにしましても、防衛省としては、今後、新たな特別協定の国会における審議状況を踏まえつつ、平成20年度の訓練計画について関係自治体等に対し、適切に情報提供をしてまいりたいと考えております。（平成20年3月28日開催の連絡協議会にて、北海道防衛局が説明）

※ 4月25日に参院本会議で不承認となりましたが、衆院の決定が優先承認され、5月1日に発効となっており、間もなく公表されるものと思っております。

7. 今回の共同訓練に参加した米軍は岩国基地所属の部隊か、米国からの外来機かの確認について

今回訓練に参加した米軍の所属部隊は、岩国基地所属である。ただし、岩国基地所属の部隊は6ヶ月ごとの交替であり、平成20年1月16日に配属された部隊が今回の訓練に参加したものです。(北海道防衛局に確認)

8. 嘉手納基地・岩国基地・三沢基地の米軍所属部隊について

別紙(在日米軍再編に係る米軍基地の配備部隊の現状)のとおりです。(関係市町のホームページ等より出典)

9. 洞爺湖サミットに係る新千歳空港利用の深夜早朝における離発着の市民周知について

平成20年3月27日開催の「新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧市地域協議会」において、北海道からの説明では、外務省及び各参加国の先遣隊による調査の際に、深夜早朝時間帯の離発着に制限されている旨説明し協力要請を行うが、各国政府専用機の到着・出発時間対等の具体的スケジュールについては、サミット直前にならなければ決まらないとの見通しから、情報が入り次第、市としても「市役所だより」「ホームページ」などへ掲載し、市民周知をしてまいります。

10. 千歳基地への訓練移転に係る共同訓練における離着陸時間の事前の情報提供について

離発着時間にはわかり次第、速やかにお伝えしたいのですが、何時に飛ぶかというのは、戦闘機の運用上、事前にお知らせをするのは難しいものですが、お伝えできる段階になれば速やかに対応させていただきたいと思っております。(平成20年3月28日開催の連絡協議会にて、北海道防衛局が回答)

在日米軍再編に係る米軍基地の配備部隊の現状

区 分	配 備 部 隊	配 備 機 種 ・ 機 数
嘉手納基地	空軍：第18航空団 海軍：在沖米艦隊活動司令 嘉手納海軍航空施設局	F-15イーグル戦闘機 約53機 KC-135空中空油機 約15機 E-3空中早期警戒管制機 2機 HC-130ハーキュリーズ救難機 約1機 MC-130特殊作戦機 10機 HH-60ヘリコプター救難機 10機 P-3Cオライオン対潜哨戒機 約3～10機 計約101機
岩国基地	第1海兵航空団 第3海兵役務支援群 SDバトラー海兵隊基地司令部	FA-18A/Cホーネット戦闘攻撃機（1名乗） FA-18Dホーネット戦闘攻撃機（2名乗） EA-6Bプラウラー電子戦機 AV-8BハリヤーII攻撃機 US-12Fスーパーキングエア汎用機 CH-53Dシースタリオンヘリコプター 計約57機
三沢基地	米空軍第35戦闘航空団 米空軍三沢航空基地隊 米陸軍第403軍事情報分遣隊	F-16C/D戦闘機 約36機 P-3C対戦哨戒機 約9機 計約45機

※ 出典

嘉手納基地：嘉手納町役場ホームページ

岩国基地：平成16年度岩国市発行「基地と岩国」

三沢基地：三沢市ホームページ

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質問回答

当日質問分（当日質問順）

平成20年2月25日開催

質 問 事 項	回 答
<p>【質問：中野副市長】 今回の訓練では実弾を搭載せず、実弾訓練はしないということだが、過去の訓練も同様か。また、今後についてはどうか。</p>	<p>【回答：北海道防衛局】 これまでの訓練移転については、実弾を使用した訓練は実施していません。また、今回の千歳基地においても実弾訓練の予定はございません。 今後においても、実弾訓練をする予定とは聞いていません。</p>
<p>【質問：渡辺（満）議員】1回目 今日飛来するFA-18は慣熟訓練を行うのか。行うとすればどのような内容なのか。</p>	<p>【回答：北海道防衛局】 今回の訓練全般については、あくまでも主目的は戦闘機戦闘訓練です。慣熟訓練等については、日米打合せした後、決定することとなり、現時点では申し上げられないが、まだ否定はされていない状況であります。</p> <p>【回答：2空団】 慣熟訓練というイメージは、基地に降りるための通常の進入経路等を再度確認する程度の認識であり、低空飛行、超音速飛行、急上昇等をするという慣熟飛行というのは基本的にはないと思っております。</p>
<p>【質問：渡辺（満）議員】2回目 実施するか否かはどの時点で判断するのか。慣熟訓練を実施するとなると、どういう形で報道されるのか。また、飛行ルートの確認のため、そういう訓練を何回か繰り返されるとの認識でいたが、慣熟訓練とはどのようなものか疑問である。</p>	<p>【回答：北海道防衛局】 米側が到着後、詳細な打合せをして最終的に決まる部分もあることから、可能性は否定できません。 また、慣熟訓練の実施状況は、当日の朝昼等を含めて適時・適切に皆さまにお知らせしたいと考えております。</p> <p>【回答：2空団】 今から飛来するFA-18について、慣熟訓練というイメージは、この基地にどのよう</p>

<p>【 質問：松井議員 】 1回目</p> <p>1月8日に百里基地の訓練中に発生した、F-15の水平尾翼の脱落事故に関し、原因と落下地点及び今回参加する2空団のF-15の安全対策をご説明いただきたい。</p> <p>【 質問：松井議員 】 2回目</p> <p>私ども市議会では、今回の点検は目視とハンマーによる点検と聞いており、これは離発着時の通常の点検と考えていたが、特別な点検とはどのような点検をし、安全確認をされたのかお聞かせいただきたい。</p> <p>【 質問：山中議員 】 1回目</p> <p>今回の訓練空域は、秋田沖西方、三沢沖東方とのことで非常に広い空域と聞かすが、気象状況によって、航空自衛隊の航路と変わらないことが、担保されるのかお聞かせいただきたい。</p>	<p>な経路で降りようかという可能性はあるが、慣熟訓練で基地上空を飛び回る、着陸後もう一度離陸するといったことではありません。</p> <p>米軍が到着後、ブリーフィングをして明日以降慣熟訓練を実施したいとなる可能性もあることから、否定できないとのことでありませす。</p> <p>今降りてくるFA-18は、低高度、超音速、急上昇などは、今のところないと思っております。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>事故原因については現在も調査中ですが、現在判っている範囲は、あくまでも当該航空機特有ということでありませす。2空団のF-15については、すべて特別点検を実施し、安全を確保した上で、飛行訓練を開始しております。尾翼の落下場所については、まだ特定できておりませせんが、太平洋上の訓練空域に脱落した可能性が高いとのことでありませす。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>通常検査の目視検査、タップハンマー法検査のほか、非破壊検査を実施しております。</p> <p>また、当該部位については、時間毎(200時間単位)に実施しなければならない検査を全部しております。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>訓練空域は、日本海側は稚内沖から秋田沖までであり基本的には空域を4つに区切り、南側については、基本的に第3航空団(三沢基地)が使用しており、2空団が使用する空域は、一般に積丹沖、日高沖と呼んでおります。</p> <p>チャーリー(C)空域、ブラボー(B)空域という表現をするときは、秋田沖、三沢沖</p>
--	--

<p>【 質問：山中議員 】 2回目</p> <p>日本海側の空域が四つに分けられており、北の稚内沖から秋田の西までという非常に広い区域とのことだが、秋田沖というのも今回の訓練対象となることなのですか。</p> <p>【 質問：熊谷議員 】 1回目</p> <p>今回の千歳基地の訓練は、防衛局を通じ一般市民には、沖縄の嘉手納基地からF-15が来て、沖縄の騒音被害、負担軽減をすとの説明をしているが、岩国基地についてもこういう事実経過はあるのか。</p> <p>また、他の基地からも千歳基地において訓練が行われるのか、可能性についてお聞きしたい。</p> <p>【 質問：熊谷議員 】 2回目</p> <p>沖縄ではなく全ての基地から今後、飛来してきて米軍の訓練が行われる可能性があるということですか。</p> <p>【 質問：矢農議員 】</p> <p>米兵の沖縄での事件を受けて、防衛局が考えている同行以外の事件防止策がありましたら教えていただきたい。</p> <p>また、今後も同様の現地説明会を開催されるのかお聞きしたい。</p>	<p>という表現になり、誤解があったかと思いますが、2空団は、普段と全く同じ空域を使うので、航路についても変わりはありません。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>日本海の空域をチャーリー（C）という呼び方をしますと、公称秋田沖ということです。秋田の一番南側のエリアは第3航空団が普段使用しており、2空団は基本的には使用していません。2空団は積丹沖の前後を使用しており、今回も何ら変わらないということです。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>訓練移転の第一の目的は、日米2国間の相互運用性、自衛隊と米軍との連携強化であります。また、沖縄にあります嘉手納飛行場、岩国、三沢の米軍の駐留する飛行場の地元の負担軽減のために、実施するということがあります。</p> <p>今後の訓練計画については、日米間で現在調整をしております。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>嘉手納、岩国、三沢から来る可能性があります。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>原則として、現在、外出禁止の措置がとられていると聞いております。例外として、病院や教会に行くなどが例示として聞いておりますが、最終的には事情を勘案して指揮官が判断することとあります。</p> <p>必要に応じて外出した場合は、同行に努めるほか、状況を見ながら街を巡回するとか、同時に米軍に対し、厳正な規律の保持を強く</p>
---	---

<p>【 質問：渡辺(満)議員 】 1回目</p> <p>私たちに、事前に質問項目を提出するよう文書で求められていたわけですが、それに対し時間制限の中で、全く答えていないわけです。</p> <p>何の目的で事前に質問項目をとったのか、答えていただけるものとの認識で、何項目か提出させていただいたが理解できない。</p> <p>質問項目は、文書で回答いただけるものか伺いたい。</p> <p>【 質問：渡辺(満)議員 】 2回目</p> <p>あらかじめ何々市から一人、何々市から一人、マスコミ関係からなど、決まりごとを事前に言っていただければ、私たちも何の目的で事前に質問を通告しているのか、意味がないと考えるが。</p> <p>質問に対し回答の準備が当然必要であるとの認識であり、今、全て回答できないのも分かりますので、後で、文書での回答を望みたいと思います。</p> <p>【 質問：渡辺(満)議員 】 3回目</p> <p>答弁をしてくれるのかどうか、できないのならできないと言ってください。</p>	<p>求めたいと考えております。</p> <p>今回の説明会開催の趣旨は、今回初めての訓練移転が行われることもあり、報道を始めとした地元の皆さまの関心が非常に高いということをお察し、開催させていただきました。今後については、開催する、しないとも決めておりませんし、考えておりません。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>まず、この場でできるだけ回答させていただきたいと思います。</p> <p>事前にお聞きしましたのは、データ準備や急に資料がなくお答えできない場合がございますので、事前に教えていただきたくお願いをしております。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>今回集まっていたのは、非常に関心が高いものと推測し、説明会を設けたほうが良いとの判断のもと、開催させていただきました。また、参加数やただ今の質問などを、今後の参考にさせていただきたいと思っております。</p> <p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>ここでできるだけ質問には答えさせていただきたいと思っております。</p>
---	--

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質問回答

平成20年4月4日回答分

平成20年2月25日開催

質 問 事 項	回 答
<p>【質問：苫小牧市】</p> <p>1. 今回の戦闘訓練では実弾を搭載せず、実弾訓練はしないとのことだが、過去の訓練も同様か。また、今後についてはどうか。</p> <p>2. FA-18の安全性はどうか。過去10年間の事故の実態は。</p> <p>3. 沖縄タイムスでFA-18にクラスター弾搭載の記事があったが、事実か。</p>	<p>当日回答済。</p> <p>※ 防衛省が、日米地位協定第18条業務の関係において、平成10年度以降知り得たFA-18に関する航空機関連事故等は別紙のとおりです。</p> <p>クラスター弾搭載の有無については、米軍の運用に関わることであり、承知しておりません。</p>
<p>【質問：渡辺(満)議員】</p> <p>1. 今回の訓練移転で飛来する岩国所属の米軍FA18×4機の参加部隊が何故、「沖縄の負担軽減」となるのか、その理由を求める。</p> <p>2. 少女暴行事件等の理由で嘉手納基地では外出禁止となっているが、今回の米軍の参加部隊も「外出禁止」を求めるが、どのような対応をするのか見解を求める。</p> <p>3. 訓練に参加する米軍の正確な人員数とFA-18の参加機種と機数の説明を求める。</p> <p>4. 本日飛来するFA-18は慣熟飛行を行うのか。その際の訓練内容はどのようなものなのか、説明を求める。</p> <p>5. 訓練内容は、自衛隊2空団と「同様の態</p>	<p>熊谷議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>矢農議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>※ 訓練に参加した米軍の人数は13名、FA-18は4機です。</p> <p>当日回答済。</p>

<p>様」と説明しているが、苫小牧市街地上空は飛行しないと約束できるのか見解を求め</p> <p>る。</p> <p>6. 仮に、市街地上空を飛行した場合は訓練の中止を行うのか、見解を求め</p> <p>る。</p> <p>7. 今回の訓練移転での離発着回数は何回なのか明確な説明を求め</p> <p>る。</p> <p>8. 岩国基地所属のF A - 1 8に関する過去の事故について、説明を求め</p> <p>る。</p>	<p>市街地上空の飛行はこれまでどおりその局限に努めます。</p> <p>ただし、航空交通管制の状況又は管制指示、あるいは、航空機間の飛行安全を確保するため市街地上空を飛行する場合は生起し得</p> <p>ます。</p> <p>そのようなことは想定しておりませ</p> <p>ん。</p> <p>※ 騒音測定のため確認した米軍機の離着陸回数は2 2回です。</p> <p>市の質問に対する回答と同様</p>
<p>【質問：松井議員】</p> <p>1月8日発生、茨城県百里基地における航空自衛隊所属のF - 15の水平尾翼落下事件の原因と対策について、再三の苫小牧市の求めに答えられていない。</p> <p>今回の共同訓練においても二空団所属のF - 15が4機参加されると聞いておりますので改めて以下をお聞きします。</p> <p>①事故原因についての説明。</p> <p>②脱落した尾翼の落下場所について。</p> <p>③再発防止策として、目視検査とタップハンマー法による検査を実施したと聞いているが、これは通常の離発着点検と認識しているが違うのか。</p> <p>また、他にも今回の事故を受けた特別な防止策を講じているのであればお示しいただきたい。</p>	<p>当日回答済。</p>
<p>【質問：山中議員】</p> <p>1. この度の説明会は、北海道防衛局の自発</p>	

<p>的な開催であるのか。</p> <p>2. この度の説明会は、あらかじめ予定されていたのか。</p> <p>3. 説明会は、他の共同訓練実施箇所でも行われているのか。</p> <p>4. 今後も実施されるであろう共同訓練毎に、この種の説明会を行われるのか。</p> <p>5. この度の説明会は、自治体関係者及び報道機関に限定された案内であったようですが、航路直下住民、団体をなぜ対象としなかったのか。また、今後は参加対象とすべきであるし、別途説明会行うべきである。見解をお聞かせください。</p> <p>【質問：矢農議員】</p> <p>1. 千歳基地を含む国内 6 基地への米軍訓練移転についてですが、地元理解として、沖縄に多くの基地が集中している状況から、その負担の軽減を図ることが訓練移転の大きな理由になっていると認識しております。そこで、お伺いいたしますが、今回の訓練移転を通じ、訓練回数の減少等、沖縄の負担は軽減されているのでしょうか？負担軽減について、具体的事実がありましたらお答えください。また、沖縄の負担軽減について防衛省はどういった見解をお持ちでしょうか。</p> <p>2. 過日の在沖縄米海兵隊員が女子中学生を暴行したとされる事件などを受け、20 日午前 7 時半から当分の間、沖縄と岩国（山口県）の米軍基地所属の米軍人らの基地外への外出を禁止すると伺っております。その効力は千歳基地においても準用されますでしょうか。また、この種の事件の未然防止</p>	<p>他の基地においては、自治体等による訓練視察は行った例はあるが、今回と同様な説明会は実施していないと承知しています。</p> <p>説明会の参加対象者については、警備等の関係から、地元を代表した自治体関係者及び報道関係者を対象に実施したものです。</p> <p>熊谷議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>当日回答済。</p>
--	---

<p>策としてどのようなことをお考えでしょうか。</p> <p>3. 過去、道内で起きた訓練中の事故の多くの部分が低空飛行に関連して起こっていることから、事故対策として、低空飛行について苫小牧市として大きな関心事となっております。そこで伺いいたします。過去の苫小牧市とのやりとりや協定書・協議確認書で訓練は自衛隊と同様の態様であることや、市街地上空を極力避けた飛行をすることが確認されていることから、民家がある上空で低空飛行をされることはないと思いますが、その認識でよろしいでしょうか。</p> <p>4. また、防衛省や米軍として、低空飛行訓練をどのように運用していますでしょうか、航空法では最低安全高度として「人又は家屋の密集している地域の上空においては300mの高度」としてありますが、米軍や自衛隊においてもその規定を準用し、最低安全高度を下回らない範囲で飛行を行うとの認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>過去の道内で起きた訓練中の事故のいずれをもつてのご質問か明らかではないが、いずれにせよ、原則的に最低安全高度及び着陸時に規定された飛行経路を遵守するとともに市街地上空等を極力避けた飛行を行っているところではあります。</p> <p>ただし、気象状態及びその時々々の航空交通の効率的な流れと飛行安全の確保の観点から、所要の管制指示等に従って飛行する場合がありますことをご理解願います。</p> <p>航空自衛隊は、航空法を遵守し、最低安全高度を下回らない訓練を行っております。</p> <p>米軍の運用についても、通常の自衛隊の訓練と基本的に変わりません。</p>
---	--

※印付以外の回答は2月25日の時点となっております。

在日米軍F A - 1 8による航空機関連事故等

(H20.3.28 現在)

発生年月日	発生場所	事故の概要
H11.1.20	高知空港沖合海上	F A - 1 8 墜落
H12.7.20	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8 から前方レーダーの水滴防止ケースが落下
H12.12.20	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8 からチャフ部品が落下
H13.1.23	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8 からシリンダー状部品及び皿状の蓋が落下
H13.3.21	島根県桜江町	F A - 1 8 の飛行によりガラス破損等の被害が発生
H13.4.9	岩国飛行場	F A - 1 8 から右翼前方フラップ部品が落下
H16.4.26	山口県宇部市沖合 埋立地	F A - 1 8 から標的が落下
H16.6.15	沖縄県北谷町	F A - 1 8 から主翼部の部品の一部が落下
H16.8.27	岩国基地	F A - 1 8 の着陸の際、主翼が滑走路に接触
H16.9.30	不明	F A - 1 8 の車輪格納扉を遺失
H16.11.29	厚木基地	F A - 1 8 からミサイルの羽根の一部が落下
H16.12.6	神奈川県藤沢市	F A - 1 8 から金属部品が落下
H17.4.14	不明	F A - 1 8 から模擬弾の羽根1枚を遺失
H19.2.27	不明	F A - 1 8 の補助翼の保護カバーを遺失
H19.4.10	不明	F A - 1 8 の主翼保護部品の一部を遺失
H19.4.23	群馬県沼田市	F A - 1 8 の飛行によりガラスは損等の被害が発生
H19.11.28	名古屋空港	F A - 1 8 のコックピットの警告ランプが点滅したため予防着陸（着陸帯上の燈火の破損）

注：遺失とは、基地を離陸後、帰還するまでの間に部品等を失ったものであり、発生場所が不明のもの。

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する報告書

【 訓練期間 平成20年2月25日(月)

～平成20年2月28日(木)】

平成20年4月

苫 小 牧 市

目 次

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過	1
米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について （2月 4日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	4
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について （2月15日開催：米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会関係）	8
地域説明会の開催結果について	13
米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会 質問回答	14
千歳基地における日米共同訓練の実施内容について	23
訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について	24
訓練移転に伴う騒音測定結果について	25
検証結果	31

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転（共同訓練）経過

【 訓練期間：平成 20 年 2 月 25 日（月）～28 日（木）】

- H20. 1. 29（火） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡会議幹事会開催（北海道庁）
- H20. 2. 1（金） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催連絡
- H20. 2. 4（月） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催正式連絡（FAX）
・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催（北海道防衛局）
・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
・ 市長記者会見
・ 三地域要人への連絡及び苫小牧市航空機騒音対策協議会日程調整
・ ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
・ 総合開発特別委員会開催日程調整及び訓練概要を市議へ連絡
・ 地域説明会会場予約
- H20. 2. 6（水） ・ 地域説明会会場確保
・ 全戸配布用「お知らせ」庁内印刷
- H20. 2. 7（木） ・ 全戸配布用「お知らせ」業者依頼（日通：12 日から配布）
- H20. 2. 8（金） ・ 全戸配布用「お知らせ」業者依頼（とまみん：12 日から配布）
・ 地域説明会日程を「市役所だより」へ掲載依頼
- H20. 2. 12（火） ・ 商工会議所、町内会連合会へ説明
- H20. 2. 14（木） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡会議幹事会開催（北海道庁）
- H20. 2. 15（金） ・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催正式連絡（FAX）
・ 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催（北海道防衛局）
・ 千歳基地に係る米軍航空機事故等連絡会議開催（北海道防衛局）
・ 苫小牧市在日米軍再編問題対策会議部員に通知内容をメール配信

- ・市長記者会見
 - ・三地域要人への連絡
 - ・詳細通知を市議へ通知
 - ・ホームページ掲載及び「市役所だより」掲載依頼
- H20. 2. 18 (月)
- ・商工会議所、町内会連合会へ詳細通知持参
 - ・医師会、警察署に対し協力依頼
 - ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催
- H20. 2. 19 (火)
- ・総合開発特別委員会開催
 - ・植苗地区地域説明会（植苗ファミリーセンター）
- H20. 2. 20 (水)
- ・沼ノ端地区地域説明会（沼ノ端コミュニティーセンター）
- H20. 2. 21 (木)
- ・勇払地区地域説明会（勇払公民館）
 - ・地元自治体、報道関係者に対し、訓練開始前の現地説明会開催案内がある
- H20. 2. 22 (金)
- ・訓練開始前の説明会の市及び市議からの質問事項を北海道防衛局へ送付
 - ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議協議部会開催（市民部、消防本部除く）
- H20. 2. 23 (土)
- ・航空自衛隊千歳基地内に北海道防衛局訓練移転現地連絡本部設置
- H20. 2. 24 (日)
- ・横田基地より連絡要員1名が民航機にて千歳基地に到着
- H20. 2. 25 (月)
- ・輸送機にて整備関係要員4名が千歳基地に到着
 - ・現地連絡本部説明会開催
 - ・米軍FA-18×3機（パイロット3名）千歳基地到着
- H20. 2. 26 (火)
- ・市職員2名、航空自衛隊千歳基地内へ（～28日）
 - ・午前、米軍機（FA-18×3機）、自衛隊機（F-15×4機）
三沢東方沖空域において訓練
 - ・到着が遅れていた、米軍FA-18×1機（パイロット1名）千歳基地到着
 - ・午後に予定されていた訓練が、天候上の理由により中止となる
 - ・民航機にて整備関係要員4名が千歳基地に到着
- H20. 2. 27 (水)
- ・午前、米軍機（FA-18×4機）、自衛隊機（F-15×4機）
秋田西方沖空域において訓練
 - ・午後に予定されていた訓練が、天候上の理由により中止となり、
今回の訓練は全て終了したとの発表がある
- H20. 2. 28 (木)
- ・米軍機FA-18×4機（パイロット4名）岩国基地へ帰還

- H20. 2. 29 (金) ・米軍の連絡及び整備要員全員が民航機を利用して、各基地へ帰還
・現地連絡本部閉所
- H20. 3. 7 (金) ・訓練移転に伴う騒音測定結果確定値の公表（ホームページ、記者クラブ）
- H20. 3. 13 (木) ・総合開発特別委員会開催（報告）
- H20. 3. 21 (金) ・苫小牧市在日米軍再編問題対策会議開催
・訓練移転について、空港港湾課、環境保全課合同の検証
- H20. 3. 25 (火) ・苫小牧市航空機騒音対策協議会開催
- H20. 3. 26 (水) ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する千歳市との情報交換
- H20. 3. 28 (金) ・米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する
連絡協議会及び幹事会開催（北海道防衛局）

米軍再編に係る千歳基地における訓練移転（共同訓練）について

平成20年2月4日

北海道防衛局

米軍再編に係る訓練移転として、現在、千歳基地において2月下旬に訓練を実施する方向で日米間で調整中です。

現時点においては、タイプⅠ規模になる見込みですが、降雪等の状況により訓練が実施されない場合があります。

訓練移転の期日、参加部隊等の具体的な計画の概要については、決まり次第、お知らせします。

以上

(参考)

タイプⅠ：1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練

タイプⅡ：1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会での要請事項

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

千歳基地における在日米軍再編に係る日米共同訓練が2月下旬から実施される予定であるとの、通知を受けました。

訓練の期間や参加する部隊などの詳細な内容については、今後、改めて通知されるとのことですが、訓練の実施にあたっては、地元市民をはじめとする道民の不安や懸念を踏まえ、千歳市、苫小牧市及び道で構成する「連絡会議」として、次の5項目について要請いたします。

記

- 1 土曜日・日曜日及び早朝・深夜の訓練を実施しないことなど、これまでの両市との協議経過を踏まえ、協定の内容を確実に遵守すること。
- 2 自衛隊が通常使用している訓練空域や飛行経路、飛行方法によること。
- 3 訓練の安全管理及び米軍人の本道滞在中における規律の維持に万全の対応を期すこと。
- 4 訓練期間中は、貴局において騒音測定を実施するとともに、できる限り早期に結果を公表すること。
- 5 訓練に参加する戦闘機に関し、整備・点検など安全確保に万全を期すこと。

苫小牧市の個別要請

- 1 過去の米軍機による事故内容をみると、建物の窓ガラスの破損事故が数多くみられ、この事故により乳児が負傷したり、また馬産地での軽種馬の被害などがみられております。
これらの事故は、全て低空飛行によるものと考えられますので、市街地上空での低空飛行は行わないでいただきたい。
- 2 現地連絡本部が設置されることとなりますが、市民からの問い合わせ等には誠意を持って対応し、連絡本部としての機能を確実に果たしていただきたい。
- 3 訓練に係る情報はもとより、関連する情報等は速やかに伝えていただきたい。
- 4 訓練終了後の「検証」は必ず行っていただきたい。
- 5 市民の安心・安全のため万全の体制で訓練を行っていただきたい。

千歳市の個別要請

- 1 米兵の外出に対する指導の徹底と共に、万が一の事故等に対しては、責任ある対応と速やかな情報の通知をしていただきたい。
- 2 訓練に参加する戦闘機の整備・点検など安全確保に万全を期していただきたい。

北海道の個別要請

○ 事故対策の徹底について

千歳基地及びその周辺における米軍による航空事故及び航空事故に伴う災害が発生した場合等については、平成19年1月29日に設置された「千歳基地に係る米軍航空機事故等連絡会議」に基づく「緊急措置要領」により対処されるものと承知しているが、千歳基地周辺以外の地域

で事故等が発生した場合においても、対応に万全を期していただきたい。
また、対応に当たっての考え方を示していただきたい。

【 回 答 】

今回、要望のありました事項について、総合的になるとは思いますが、協定につきましては当然遵守いたします。

安全無事に訓練が行われるよう最大限努力したいと考えておりますし、その他皆様の色々ご懸念についても誠心誠意対応してまいりたいと思います。

仮に、不幸にして何か事故が起こった場合についても、速やかに対応するのは当然のことと考えております。

事故発生時の対応について

- 1 千歳基地及びその周辺において、万一米軍による航空事故等が起きた際に緊急の連絡通報や総合的な応急対策を円滑に実施できる体制を確立する目的で、北海道防衛局と地元関係機関で構成された「千歳基地に係る米軍航空事故等連絡会議」が設置されており、平素から連絡協議を行うことを目的として定例会等を開催し、定期的に相互の緊密な連携の保持に努めるものとしているところであります。
- 2 千歳基地及びその周辺以外で住民に影響する事故等が発生した場合は、日米間で合意された「通報手続」等に従い、速やかに関係地方自治体等に通報するとともに、再発を防止し住民の不安を軽減するため、米側に対し、原因究明及び安全管理の徹底を従来と同様に申し入れを行っていくこととなります。

また、当局としては、基地対策や賠償業務などを担当している立場から、当局職員が従来と同様に米軍と住民の方々や地方公共団体等との間の連携・調整に当たり、被害者に対しては迅速かつ適切に補償を行うこととしております。

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）
に関する訓練計画概要について

平成20年2月15日
北海道防衛局

米軍再編に係る岩国飛行場から千歳基地への訓練移転（共同訓練）に関する訓練計画概要について、次のとおりお知らせします。

- 期 日：平成20年2月25日（月）～28日（木）
- 参加部隊：〔米軍〕
海兵第12飛行大隊に所属する派遣海軍部隊（岩国）
〔航空自衛隊〕
第2航空団、北部航空警戒官制団
- 使用基地：千歳基地
- 演練項目：戦闘機戦闘訓練等
- 使用訓練空域：秋田西方空域（C）、三沢東方空域（B）
- 参加規模：タイプI訓練
〔米軍〕
FA-18×4機程度、人員十数名（岩国）
※ 人員、器材等輸送のため輸送機が事前に飛来予定
〔航空自衛隊〕
F-15×4機程度

以上

米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡協議会での要請事項

北海道、千歳市、苫小牧市の三者で構成する

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する連絡会議」としての要請

米軍人の規律の維持について、2月10日に沖縄県で女子中学生への暴行事件が発生し、政府においても綱紀肅正と再発防止を米側に申し入れたと聞いておりますが、訓練を控え道民に与える不安を懸念しております。

協定には安全対策に努めることが盛り込まれており、2月4日の通知の際にも、米軍人の規律の維持について要請したところでありますが、万一にもこのような事件が発生しないよう改めて強く要請いたします。

【 回 答 】

皆様方の心配、ご懸念は十分理解しているので、その意向に沿って対応したいと考えております。

苫小牧市の個別要請

2月10日の沖縄県で米軍人による女子中学生への暴行事件が発生したことを受けて、ただ今、北海道・千歳市・苫小牧市で構成しております「連絡会議」で米軍人の規律の維持について要請いたしました。訓練期間中の米軍人の外出時におきましては、同行者をつけるなど市民の不安解消に努め、安心・安全のため万全の体制で訓練を行うよう要請いたします。

千歳市の個別要請

千歳市の場合、外出するという可能性が一番高く、市といたしましても一生懸命、関係機関と強固な情報を図る考えでありますがよろしく願いしたい。

【 回 答 】

最大限努力したいと考えております。

苫小牧市の質問事項

- ・ 今回の訓練において、米軍人の外出はあるのか。

【 回 答 】

米軍人の外出については、来た部隊の指揮官の許可を得て外出するルールとなっております。今回の訓練期間中の米軍人の外出の有無については、今の時点では申し上げることはできません。

- ・ 今回の訓練にFA-18が参加することとなっているが、F-15との音の違いは。

【 回 答 】

そこを判断するために騒音測定を実施するものであり、結果については速やかに公表いたします。

- ・ F-15は最近事故が多発しているが、FA-18は大丈夫なのか。

【 回 答 】

入念に点検、チェックをして安全が確認されたものが飛行するということになっており、安全に関しては万全を期す。

- ・ 人員十数名となっているが、パイロット以外はどのような構成となっているのか。

【 回 答 】

基本的には、4名のパイロットのほか整備要員が若干来るという位置づけとなっております。

- ・ 輸送機が事前に飛来予定とあるが、いつ来て、いつ帰還するのか。

【 回 答 】

輸送機については、戦闘機より前に来て、戦闘機が帰った後に帰ることは決まっておりますが、日時については米軍の空輸の関係で、現在最終調整中と聞いております。

- ・ 訓練は25日から28日までの4日間となっておりますが、25日と28日は移動日と解し、実質訓練日は26日と27日で良いのか。

【回答】

25日から28日までが訓練を実施する予定と決まっております。
過去のケースでは、来る日はあまり訓練をしていない。帰る日については所要の訓練成果を満たしていれば、訓練をしないで帰ることもあり、訓練を行ってから帰った事例もあります。

- ・ 訓練は秋田西方空域、三沢東方空域の両方で行うのか。また、秋田西方空域とは、通常訓練で使用している積丹沖のことなのか、三沢東方空域についても日高沖との解釈で良いのか。

【回答】

訓練を行う日の天候によって、日本海側か太平洋側どちらかを使うこととなります。

空域の中のどの部分を使うかは、それぞれの空域となっているので限定はできません。空域の詳細はまだ表に出していないと聞いており、どの程度重なるのか重ならないのか申し上げることはできません。

- ・ 飛行経路は、通常の2空団の積丹沖、日高沖と同様か。(市街地上空の低空飛行は避けていただきたい。)

【回答】

訓練は、自衛隊が通常行わないことは米軍も行いません。
共同訓練ということで、自衛隊の運用と同様ですが、詳細については、現地自衛隊と米軍が調整した上で、決定されこととなります。

- ・ 訓練は、1日何回を予定しているのか。

【回答】

訓練は、天候状況や成果を見ながらとなるので、現時点で申し上げることはできません。

- ・ 報道によると、米軍機は最新のFA-18とのことであるが、報道のとおりでよろしいのか。

【 回 答 】

FA-18のホーネット4機が来るということで、報道は事実であります。

地域説明会の開催結果について

1 会場別出席者数及び質問者数

区 分	植苗・美沢地区	沼ノ端地区	勇払地区
日 時	H20. 2. 19 (火) 19:00～20:00	H20. 2. 20 (水) 19:00～20:30	H20. 2. 21 (木) 19:00～20:30
会 場	植苗ファミリーセンター	沼ノ端コミュニティセンター	勇払公民館
出席者数	36人(男27、女9)	45人(男39、女6)	40人(男32、女8)
質問者数	9人	14人	10人

○三地区合計

出席者数 121人(男98人、女23人)

質問者数 33人

2 三地区地域説明会における質問・意見等について

【三地区共通で多く寄せられた質問等】

- ・ 訓練内容について・・・・・・・・・・・・・・・・・・24件(32.9%)
(国に対する要請、回数、飛行コース、訓練空域、慣熟飛行など)
- ・ 騒音問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件(15.1%)
(騒音結果の公表、測定局、騒音の度合など)
- ・ 安全保障政策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・11件(15.1%)
(市長判断、日米安全保障協議委員会(2+2)、ロードマップなど)
- ・ 沖縄負担軽減問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件(9.6%)
- ・ 沖縄米兵事件について・・・・・・・・・・・・・・・・・・7件(9.6%)

【その他】

- ・ 政府専用機について・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件(6.8%)
- ・ 戦闘機事故について・・・・・・・・・・・・・・・・・・4件(5.5%)
- ・ アメとムチについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・3件(4.1%)
(再編交付金、健康増進施設、岩国市長選など)
- ・ 管制トラブルについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件(1.4%)

合 計 73 件

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質問回答

平成20年2月25日開催

当日質問分（当日質問順）

質 問 事 項	回 答
<p>【 質問：中野副市長 】</p> <p>今回の訓練では実弾を搭載せず、実弾訓練はしないということだが、過去の訓練も同様なか。また、今後についてはどうか。</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>これまでの訓練移転については、実弾を使用した訓練は実施しておりません。また、今回の千歳基地においても実弾訓練の予定はございません。</p> <p>今後においても、実弾訓練をする予定とは聞いておりません。</p>
<p>【 質問：渡辺（満）議員 】 1回目</p> <p>今日飛来するFA-18は慣熟訓練を行うのか。行うとすればどのような内容なのか。</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>今回の訓練全般については、あくまでも主目的は戦闘機戦闘訓練です。慣熟訓練等については、日米打合せした後、決定することとなり、現時点では申し上げられないが、まだ否定はされていない状況であります。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>慣熟訓練というイメージは、基地に降りるための通常の進入経路等を再度確認する程度の認識であり、低空飛行、超音速飛行、急上昇等をするという慣熟飛行というのは基本的にはないと思っております。</p>
<p>【 質問：渡辺（満）議員 】 2回目</p> <p>実施するか否かはどの時点で判断するのか。慣熟訓練を実施するとなると、どういう形で報道されるのか。また、飛行ルートの確認のため、そういう訓練を何回か繰り返されるとの認識でいたが、慣熟訓練とはどのようなものか疑問である。</p>	<p>【 回答：北海道防衛局 】</p> <p>米側が到着後、詳細な打合せをして最終的に決まる部分もあることから、可能性は否定できません。</p> <p>また、慣熟訓練の実施状況は、当日の朝昼等を含めて適時・適切に皆さまにお知らせしたいと考えております。</p> <p>【 回答：2空団 】</p> <p>今から飛来するFA-18について、慣熟訓練というイメージは、この基地にどのよう</p>

【 質問：松井議員 】 1回目

1月8日に百里基地の訓練中に発生した、F-15の水平尾翼の脱落事故に関し、原因と落下地点及び今回参加する2空団のF-15の安全対策をご説明いただきたい。

【 質問：松井議員 】 2回目

私ども市議会では、今回の点検は目視とハンマーによる点検と聞いており、これは離発着時の通常の点検と考えていたが、特別な点検とはどのような点検をし、安全確認をされたのかお聞かせいただきたい。

【 質問：山中議員 】 1回目

今回の訓練空域は、秋田沖西方、三沢沖東方とのことで非常に広い空域と聞くが、気象状況によって、航空自衛隊の航路と変わらないことが、担保されるのかお聞かせいただきたい。

な経路で降りようかという可能性はあるが、慣熟訓練で基地上空を飛び回る、着陸後もう一度離陸するといったことではありません。

米軍が到着後、ブリーフィングをして明日以降慣熟訓練を実施したいとなる可能性もあることから、否定できないとのことであります。

今降りてくるFA-18は、低高度、超音速、急上昇などは、今のところないと思っております。

【 回答：2空団 】

事故原因については現在も調査中ですが、現在判っている範囲は、あくまでも当該航空機特有ということであります。2空団のF-15については、すべて特別点検を実施し、安全を確保した上で、飛行訓練を開始しております。尾翼の落下場所については、まだ特定できておりませんが、太平洋上の訓練空域に脱落した可能性が高いとのことであります。

【 回答：2空団 】

通常検査の目視検査、タップハンマー法検査のほか、非破壊検査を実施しております。

また、当該部位については、時間毎(200時間単位)に実施しなければならない検査を全部しております。

【 回答：2空団 】

訓練空域は、日本海側は稚内沖から秋田沖までであり基本的には空域を4つに区切り、南側については、基本的に第3航空団(三沢基地)が使用しており、2空団が使用する空域は、一般に積丹沖、日高沖と呼んでおります。

チャーリー(C)空域、ブラボー(B)空域という表現をするときは、秋田沖、三沢沖

【 質問：山中議員 】 2回目

日本海側の空域が四つに分けられており、北の稚内沖から秋田の西までという非常に広い区域とのことだが、秋田沖というのも今回の訓練対象となることなのですか。

【 質問：熊谷議員 】 1回目

今回の千歳基地の訓練は、防衛局を通じ一般市民には、沖縄の嘉手納基地からF-15が来て、沖縄の騒音被害、負担軽減をするとの説明をしているが、岩国基地についてもこういう事実経過はあるのか。

また、他の基地からも千歳基地において訓練が行われるのか、可能性についてお聞きしたい。

【 質問：熊谷議員 】 2回目

沖縄ではなく全ての基地から今後、飛来してきて米軍の訓練が行われる可能性があるということですか。

【 質問：矢農議員 】

米兵の沖縄での事件を受けて、防衛局が考えている同行以外の事件防止策がありましたら教えていただきたい。

また、今後も同様の現地説明会を開催されるのかお聞きしたい。

という表現になり、誤解があったかと思いますが、2空団は、普段と全く同じ空域を使うので、航路についても変わりはありません。

【 回答：2空団 】

日本海の空域をチャーリー（C）という呼び方をしますと、公称秋田沖ということですが。秋田の一番南側のエリアは第3航空団が普段使用しており、2空団は基本的には使用していません。2空団は積丹沖の前後を使用しており、今回も何ら変わらないということです。

【 回答：北海道防衛局 】

訓練移転の第一の目的は、日米2国間の相互運用性、自衛隊と米軍との連携強化であります。また、沖縄にあります嘉手納飛行場、岩国、三沢の米軍の駐留する飛行場の地元の負担軽減のために、実施するということがあります。

今後の訓練計画については、日米間で現在調整をしております。

【 回答：北海道防衛局 】

嘉手納、岩国、三沢から来る可能性があります。

【 回答：北海道防衛局 】

原則として、現在、外出禁止の措置がとられていると聞いております。例外として、病院や教会に行くなどが例示として聞いておりますが、最終的には事情を勘案して指揮官が判断することとなります。

必要に応じて外出した場合は、同行に努めるほか、状況を見ながら街を巡回するとか、同時に米軍に対し、厳正な規律の保持を強く

【 質問：渡辺(満)議員 】 1回目

私たちに、事前に質問項目を提出するよう文書で求められていたわけですが、それに対し時間制限の中で、全く答えていないわけです。

何の目的で事前に質問項目をとったのか、答えていただけるものとの認識で、何項目か提出させていただいたが理解できない。

質問項目は、文書で回答いただけるものか伺いたい。

【 質問：渡辺(満)議員 】 2回目

あらかじめ何々市から一人、何々市から一人、マスコミ関係からなど、決まりごとを事前に言っただけなければ、私たちも何の目的で事前に質問を通告しているのか、意味がないと考えるが。

質問に対し回答の準備が当然必要であるとの認識であり、今、全て回答できないのも分かりますので、後で、文書での回答を望みたいと思います。

【 質問：渡辺(満)議員 】 3回目

答弁をしてくれるのかどうか、できないのならできないと言ってください。

求めたいと考えております。

今回の説明会開催の趣旨は、今回初めての訓練移転が行われることもあり、報道を始めとした地元の皆さまの関心が非常に高いということをお察し、開催させていただきました。今後については、開催する、しないとも決めておりませんし、考えておりません。

【 回答：北海道防衛局 】

まず、この場でできるだけ回答させていただきたいと思います。

事前にお聞きしましたのは、データ準備や急に資料がなくお答えできない場合がございますので、事前に教えていただきたくお願いをしております。

【 回答：北海道防衛局 】

今回集まっていたのは、非常に関心が高いものと推測し、説明会を設けたほうが良いとの判断のもと、開催させていただきました。また、参加数やただ今の質問などを、今後の参考にさせていただきたいと思えます。

【 回答：北海道防衛局 】

ここでできるだけ質問には答えさせていただきたいと思えます。

「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する現地説明会」質問回答

平成20年2月25日開催

平成20年4月4日回答分

質 問 事 項	回 答
<p>【 質問：苫小牧市 】</p> <p>1. 今回の戦闘訓練では実弾を搭載せず、実弾訓練はしないとのことだが、過去の訓練も同様か。また、今後についてはどうか。</p> <p>2. FA-18の安全性はどうか。過去10年間の事故の実態は。</p> <p>3. 沖縄タイムスでFA-18にクラスター弾搭載の記事があったが、事実か。</p>	<p>当日回答済。</p> <p>※ 防衛省が、日米地位協定第18条業務の関係において、平成10年度以降知り得たFA-18に関する航空機関連事故等は別紙のとおりです。</p> <p>クラスター弾搭載の有無については、米軍の運用に関わることであり、承知しておりません。</p>
<p>【 質問：渡辺(満)議員 】</p> <p>1. 今回の訓練移転で飛来する岩国所属の米軍FA18×4機の参加部隊が何故、「沖縄の負担軽減」となるのか、その理由を求める。</p> <p>2. 少女暴行事件等の理由で嘉手納基地では外出禁止となっているが、今回の米軍の参加部隊も「外出禁止」を求めるが、どのような対応をするのか見解を求める。</p> <p>3. 訓練に参加する米軍の正確な人員数とFA-18の参加機種と機数の説明を求める。</p> <p>4. 本日飛来するFA-18は慣熟飛行を行うのか。その際の訓練内容はどのようなものなのか、説明を求める。</p> <p>5. 訓練内容は、自衛隊2空団と「同様の態様」と説明しているが、苫小牧市街地上空</p>	<p>熊谷議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>矢農議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>※ 訓練に参加した米軍の人数は13名、FA-18は4機です。</p> <p>当日回答済。</p> <p>市街地上空の飛行はこれまでどおりその局</p>

<p>は飛行しないと約束できるのか見解を求める。</p> <p>6. 仮に、市街地上空を飛行した場合は訓練の中止を行うのか、見解を求める。</p> <p>7. 今回の訓練移転での離発着回数は何回なのか明確な説明を求める。</p> <p>8. 岩国基地所属のFA-18に関する過去の事故について、説明を求める。</p> <p>【質問：松井議員】</p> <p>1月8日発生の、茨城県百里基地における航空自衛隊所属のF-15の水平尾翼落下事件の原因と対策について、再三の苫小牧市の求めに答えられていない。</p> <p>今回の共同訓練においても二空団所属のF-15が4機参加されると聞いておりますので改めて以下をお聞きします。</p> <p>①事故原因についての説明。</p> <p>②脱落した尾翼の落下場所について。</p> <p>③再発防止策として、目視検査とタップハンマー法による検査を実施したと聞いているが、これは通常離発着点検と認識しているが違うのか。</p> <p>また、他にも今回の事故を受けた特別な防止策を講じているのであればお示しいただきたい。</p> <p>【質問：山中議員】</p> <p>1. この度の説明会は、北海道防衛局の自発的な開催であるのか。</p>	<p>限に努めます。</p> <p>ただし、航空交通管制の状況又は管制指示、あるいは、航空機間の飛行安全を確保するため市街地上空を飛行する場合は生じ得ます。</p> <p>そのようなことは想定しておりません。</p> <p>※ 騒音測定のため確認した米軍機の離着陸回数は22回です。</p> <p>市の質問に対する回答と同様。</p> <p>当日回答済。</p>
---	---

<p>2. この度の説明会は、あらかじめ予定されていたのか。</p> <p>3. 説明会は、他の共同訓練実施箇所でも行われているのか。</p> <p>4. 今後も実施されるであろう共同訓練毎に、この種の説明会を行われるのか。</p> <p>5. この度の説明会は、自治体関係者及び報道機関に限定された案内であったようですが、航路直下住民、団体をなぜ対象としなかったのか。また、今後は参加対象とすべきであるし、別途説明会行うべきである。見解をお聞かせください。</p>	<p>他の基地においては、自治体等による訓練視察は行った例はあるが、今回と同様な説明会は実施していないと承知しています。</p> <p>説明会の参加対象者については、警備等の関係から、地元を代表した自治体関係者及び報道関係者を対象に実施したものです。</p>
<p>【質問：矢農議員】</p> <p>1. 千歳基地を含む国内 6 基地への米軍訓練移転についてですが、地元理解として、沖縄に多くの基地が集中している状況から、その負担の軽減を図ることが訓練移転の大きな理由になっていると認識しております。そこで、お伺いいたしますが、今回の訓練移転を通じ、訓練回数の減少等、沖縄の負担は軽減されているのでしょうか？負担軽減について、具体的事実がありましたらお答えください。また、沖縄の負担軽減について防衛省はどういった見解をお持ちでしょうか。</p> <p>2. 過日の在沖縄米海兵隊員が女子中学生を暴行したとされる事件などを受け、20 日午前 7 時半から当分の間、沖縄と岩国（山口県）の米軍基地所属の米軍人らの基地外への外出を禁止すると伺っております。その効力は千歳基地においても準用されますでしょうか。また、この種の事件の未然防止策としてどのようなことをお考えでしょうか。</p>	<p>熊谷議員の当日の質問に対する回答と同様。</p> <p>当日回答済。</p>

か。

3. 過去、道内で起きた訓練中の事故の多くの部分が低空飛行に関連して起こっていることから、事故対策として、低空飛行について苫小牧市として大きな関心事となっております。そこでお伺いいたします。過去の苫小牧市とのやりとりや協定書・協議確認書で訓練は自衛隊と同様の態様であることや、市街地上空を極力避けた飛行をすることが確認されていることから、民家がある上空で低空飛行をされることはないと思いますが、その認識でよろしいでしょうか。

4. また、防衛省や米軍として、低空飛行訓練をどのように運用していますでしょうか、航空法では最低安全高度として「人又は家屋の密集している地域の上空においては300mの高度」としてありますが、米軍や自衛隊においてもその規定を準用し、最低安全高度を下回らない範囲で飛行を行うとの認識でよろしいでしょうか。

過去の道内で起きた訓練中の事故のいずれをもつてのご質問か明らかではないが、いずれにせよ、原則的に最低安全高度及び着陸時に規定された飛行経路を遵守するとともに市街地上空等を極力避けた飛行を行っているところでは。

ただし、気象状態及びその時々々の航空交通の効率的な流れと飛行安全の確保の観点から、所要の管制指示等に従って飛行する場合がありますことをご理解願います。

航空自衛隊は、航空法を遵守し、最低安全高度を下回らない訓練を行っております。

米軍の運用についても、通常の自衛隊の訓練と基本的に変わりません。

※印付以外の回答は2月25日の時点となっております。

在日米軍F A - 1 8による航空機関連事故等

(平成20年3月28日現在)

発生年月日	発生場所	事故の概要
H 11. 1. 20	高知空港沖合海上	F A - 1 8墜落
H 12. 7. 20	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8から前方レーダーの水滴防止ケースが落下
H 12. 12. 20	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8からチャフ部品が落下
H 13. 1. 23	岩国飛行場の北方 訓練空域	F A - 1 8からシリンダー状部品及び皿状の蓋が落下
H 13. 3. 21	島根県桜江町	F A - 1 8の飛行によりガラス破損等の被害が発生
H 13. 4. 9	岩国飛行場	F A - 1 8から右翼前方フラップ部品が落下
H 16. 4. 26	山口県宇部市沖合 埋立地	F A - 1 8から標的が落下
H 16. 6. 15	沖縄県北谷町	F A - 1 8から主翼部の部品の一部が落下
H 16. 8. 27	岩国基地	F A - 1 8の着陸の際、主翼が滑走路に接触
H 16. 9. 30	不明	F A - 1 8の車輪格納扉を遺失
H 16. 11. 29	厚木基地	F A - 1 8からミサイルの羽根の一部が落下
H 16. 12. 6	神奈川県藤沢市	F A - 1 8から金属部品が落下
H 17. 4. 14	不明	F A - 1 8から模擬弾の羽根1枚を遺失
H 19. 2. 27	不明	F A - 1 8の補助翼の保護カバーを遺失
H 19. 4. 10	不明	F A - 1 8の主翼保護部品の一部を遺失
H 19. 4. 23	群馬県沼田市	F A - 1 8の飛行によりガラスは損等の被害が発生
H 19. 11. 28	名古屋空港	F A - 1 8のコックピットの警告ランプが点滅したため予防着陸(着陸帯上の燈火の破損)

注：遺失とは、基地を離陸後、帰還するまでの間に部品等を失ったものであり、発生場所が不明のもの。

千歳基地における日米共同訓練の実施内容について

期 日	平成20年2月25日(月)～28日(木)
訓練回数	26日：午前1回・27日：午前1回 計2回
参加部隊	米軍：海軍第12飛行大隊に所属する派遣海軍部隊(岩国) 航空自衛隊：第2航空団、北部航空警戒管制団
使用基地	千歳基地
演練項目	戦闘機戦闘訓練等(慣熟飛行訓練なし)
訓練空域	26日：三沢東方沖空域・27日：秋田西方沖空域
参加規模	タイプI訓練 米軍：FA18×4機 パイロット4名・連絡要員1名・整備要員8名 計13名 航空自衛隊：F15×4機 パイロット4名・整備要員外
米軍の 移動関係	24日：連絡要員1名到着 25日：整備要員4名到着 FA18×3機(パイロット3名)到着 26日：FA18×1機(パイロット1名)到着 整備要員4名到着 28日：FA18×4機(パイロット4名)帰還 29日：連絡要員1名・整備要員8名帰還
米軍人 外出状況	24日～28日まで基地からの外出はなし
現地 連絡本部	設 置：23日 閉 所：29日

訓練期間中の苦情・問い合わせ結果について

苫小牧市

区 分	苦 情	問 い 合 せ	合 計
2月25日	0	2	2
2月26日	0	0	0
2月27日	1	0	1
合 計	1	2	3

【 苦情・問い合わせの内容】

- ・ 今回行われる訓練の自衛隊機と米軍機の騒音に対して、防音工事は行うのか。
- ・ 訓練は何時からか。市は大変だと思うが頑張っけて欲しい。
- ・ 音がうるさい。迷惑だ。

千歳市

苦情・問い合わせはなかった。

現地連絡本部

区 分	苦 情	問 い 合 せ	合 計
合 計	1	10	11

訓練移転に伴う騒音測定結果について

平成20年2月25日(月)～2月28日(木)

- 資料
- ・ 苫小牧市及び北海道の騒音測定結果
 - ・ 苫小牧市及び北海道の2月 WECPNL(うるささ指数)
 - ・ 評価
 - ・ 国の騒音測定結果(速報値)
 - ・ 騒音測定地点

平成20年2月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果(苫小牧市臨時測定および北海道・苫小牧市常設局分)確定値

【騒音測定結果】

FA18:米軍機 F15:自衛隊機

測定場所				最大ピーク騒音レベル (dB)																	
				苫小牧市臨時測定結果			苫小牧市常設局測定結果					北海道常設局測定結果									
				沼ノ端北5号公園	沼ノ端南7号公園	新明町5丁目ひまわり公園	植苗会館局	丹泊沼局	琥珀荘局	沼ノ端東局	沼ノ端局	植苗局	ウトナイ局	英沢局	湖畔局	斉藤宅局	植苗公園局	勇払局	沼ノ端東局	勇払東局	
日時・騒音の別・機種																					
飛来のみ																					
2月25日	飛来1	千歳側着陸	FA18×2機 15:20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	飛来2		FA18×1機 16:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
訓練空域:三沢東方空域(B)																					
2月26日	1回目	苫小牧側離陸	F15×4機 8:55	80.5	81.5	69.0	81	85	80	80	81	83	83	75	82	78	83	75	82	76	
			FA18×3機 9:11	77.0	82.5	64.5	79	87	81	83	81	85	85	77	85	78	87	80	87	81	
		千歳側着陸	FA18×3機 10:12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	F15×4機 10:25		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	飛来	千歳側着陸	FA18×1機 10:50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	2回目	天候上の理由により中止																			
訓練空域:秋田西方空域(C)																					
2月27日	1回目	千歳側離陸	F15×4機 10:12	-	-	-	69	66	69	-	-	63	-	77	-	70	-	-	-	-	
			FA18×4機 10:25	-	-	-	65	64	69	-	-	63	-	70	-	-	-	-	-	-	-
		苫小牧側着陸	F15×4機 11:24	-	-	-	66	63	-	-	-	65	64	-	64	-	69	-	69	-	-
			FA18×4機 11:42	93.5	92.0	-	68	77	68	82	96	78	99	-	81	-	91	76	89	79	79
	2回目	天候上の理由により中止																			
帰還のみ																					
2月28日	帰還	千歳側離陸	FA18×4機 13:09	-	-	-	-	-	63	-	-	63	-	73	-	-	-	-	-	-	
FA-18		苫小牧側離陸時																			
国の騒音推計値		苫小牧側着陸時																			

備考 ① 臨時測定結果については60dB以上の観測があったもの、常設局については60dB以上でかつ5秒以上継続した音の最高値を表示しています。

② 上記表中の「-」は観測が無かったことを表しています。

③ 上記表中の騒音値時間は最高値の発生時刻を表しています。

④ 確定値は訓練期間中発表した「速報値」を後日、国・道のデータ及びこの飛行情報等を含めて精査した結果であり、「速報値」とは異なる部分があります。

平成20年2月 苫小牧市内航空機騒音常設局 WECPNL(うるささ指数)

日	曜日	苫小牧市					北海道									
		植苗会館	丹治沼	琥珀荘	沼ノ端東	沼ノ端	植苗	ウトナイ	美沢	湖畔	斉藤宅	植苗公園	勇払	沼ノ端東雲	勇払東	
1	金	-	69	-	59	59	65	60	-	70	53	56	57	-	55	
2	土	48	69	56	59	49	64	61	53	67	56	62	58	52	59	
3	日	-	71	-	59	-	68	-	-	70	-	59	53	-	57	
4	月	52	69	58	60	60	66	63	59	69	52	61	61	53	60	
5	火	54	71	58	61	64	69	68	57	69	55	67	59	55	64	
6	水	61	70	63	51	59	67	65	61	65	59	67	-	61	-	
7	木	-	71	-	63	62	68	64	-	70	48	66	64	59	64	
8	金	-	69	-	61	61	67	63	46	69	54	66	59	57	59	
9	土	60	70	63	58	60	67	66	59	65	58	67	-	60	-	
10	日	52	67	51	61	54	64	62	48	66	57	62	51	59	54	
11	月	49	61	-	52	59	55	65	-	-	-	65	56	59	56	
12	火	52	72	57	62	70	71	69	54	69	-	67	67	62	66	
13	水	46	70	-	61	71	69	75	-	70	53	65	64	63	62	
14	木	-	71	52	61	65	71	68	-	71	-	64	62	51	61	
15	金	-	72	49	70	76	71	72	53	72	59	72	62	63	71	
16	土	51	75	-	63	-	72	-	66	72	57	59	57	46	53	
17	日	-	73	-	60	-	72	-	-	72	-	-	60	53	56	
18	月	57	72	59	66	74	70	73	63	71	58	67	64	63	61	
19	火	62	69	63	61	64	68	67	63	66	54	70	63	65	62	
20	水	61	68	61	59	62	68	67	52	64	60	69	53	64	51	
21	木	46	73	54	64	65	71	65	56	71	52	64	62	56	63	
22	金	58	67	59	53	59	66	66	54	62	54	66	-	62	46	
23	土	-	71	-	64	-	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
24	日	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	***	
25	月	57	69	57	58	63	65	67	55	62	53	68	53	61	53	
26	火	59	75	58	69	57	69	63	56	70	56	65	62	63	58	
27	水	60	71	-	65	70	69	77	52	69	63	67	60	64	61	
28	木	-	67	46	61	58	66	64	-	68	51	66	62	52	55	
29	金	61	72	63	61	56	71	64	59	68	56	67	55	59	53	
月最高値		62	75	63	70	76	72	77	66	72	63	72	67	65	71	
月平均		56	71	58	63	67	69	69	58	69	56	66	61	60	62	

WECPNL
(加重等価平均感覚騒音レベル)

一般に『うるささ指数』と呼ばれることもあり、特に夜間の騒音を重視して、騒音の強度のほかはその頻度、継続時間帯の諸要素を加味して、航空機騒音の特徴をよく取り入れた1日当たりの総騒音量の単位であり、環境基準の評価単位として採用されている。

備考 ① 測定値は、70dB以上かつ5秒以上の自衛隊機・民航機の両方の騒音を含んでいます。(市・道の騒音測定の通常の取り扱いと同様)
 ② 網掛け部分は訓練移転期間を表しています。
 ③ 上記表中の「-」は航空機騒音の観測が無かったことを意味します。
 ④ 「***」印は暴風雪のため欠測となっています。

評 価

○騒音測定結果について

苫小牧市、北海道の各常設局における測定値については、全て、平成18年度の当該局の最高値を下回っておりました。

※ 今回の訓練移転での機種別最高値

FA18(米軍) ウトナイ局(道) 99dB(着陸時)

F15(自衛隊) 丹治沼局(市) 85dB(離陸時)

○国の推計値(FA18の離着陸時騒音)との比較について

苫小牧側離陸時、植苗会館局(市)、勇払局(道)、勇払東局(道)で3～6dB高くなりました。

苫小牧側着陸時、沼ノ端局(市)、ウトナイ局(道)、勇払東局(道)で5～7dB高くなりました。

他の測定局については、推計値を下回っていました。

○WECPNL値(うるささ指数)について

訓練移転期間中で、日W値の最大値は、27日のウトナイ局(道)の77Wで、これは、2月としては最も大きな数値でした。(参考:ウトナイ局では、前年同月に日最大83Wを記録していました。)

期間中の他のW値は、期間外の値と同程度でありました。

平成20年2月 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転時の騒音測定結果(北海道防衛局)

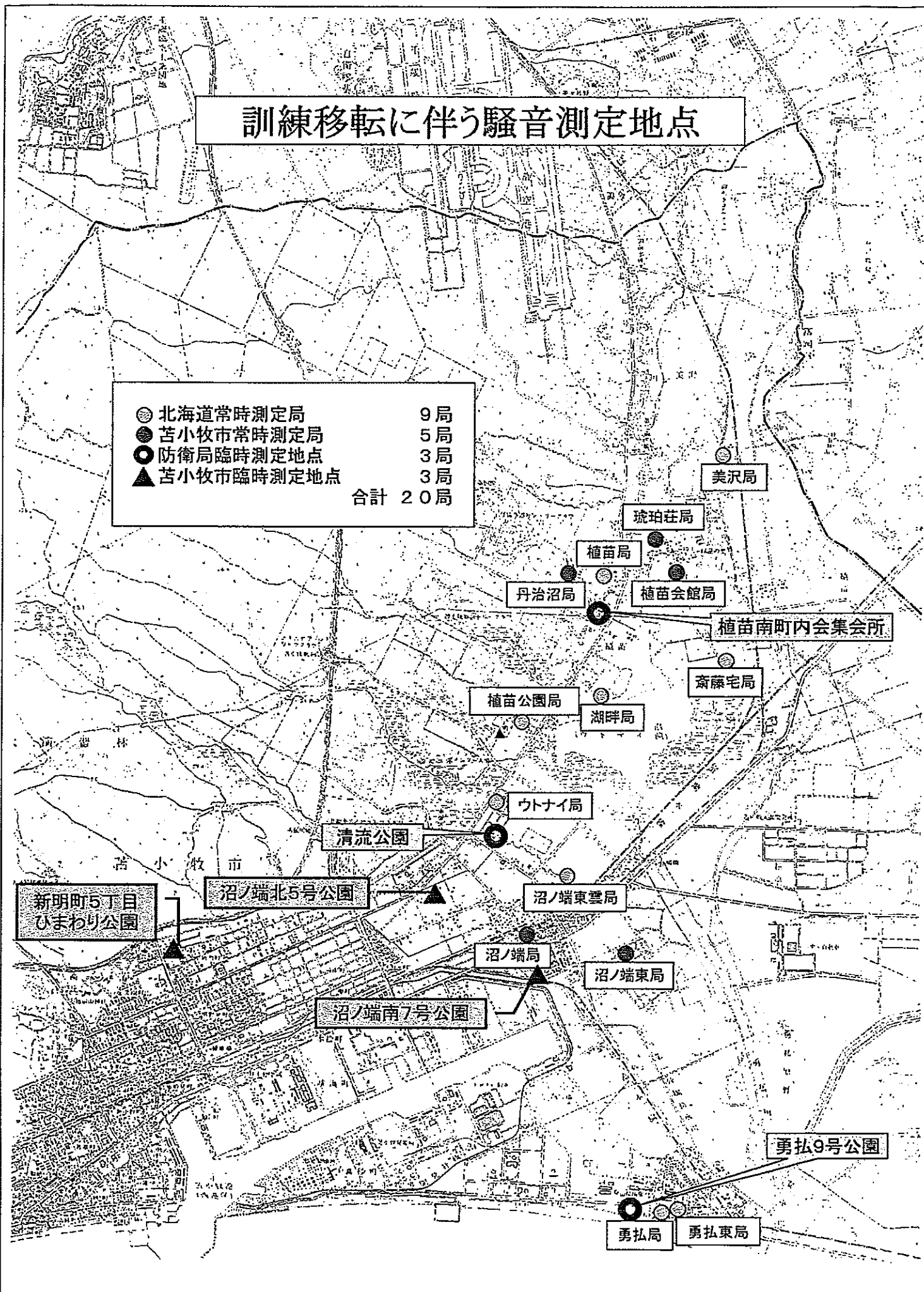
測定場所			最大ピークレベル(dB)							
			千歳市					苫小牧市		
			No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8
機種・飛行時刻			末広中公園	武道館	千歳霊園	青葉丘町内会館	北新コミセン	植苗南町内会集会所	清流公園	勇払9号公園
測定日時:平成20年2月25日(月)										
午後	着陸	FA18×2機 15:20	84.0	88.0	88.5	100.5	62.0	-	-	-
		FA18×1機 16:49	-	89.5	88.5	98.0	-	-	-	-
測定日時:平成20年2月26日(火)										
午前	離陸	F15×4機 08:55	-	-	-	-	-	85.0	76.0	76.0
		FA18×3機 09:12	-	-	-	-	-	85.5	83.0	79.5
	着陸	FA18×3機 10:12	84.0	85.0	93.0	104.0	67.5	-	-	-
		F15×4機 10:26	79.5	75.0	84.5	93.0	68.0	-	-	-
		FA18×1機 10:49	83.0	83.5	92.0	104.5	63.5	-	-	-
測定日時:平成20年2月27日(水)										
午前	離陸	F15×4機 10:13	90.0	86.0	78.5	95.0	80.0	-	-	-
		FA18×4機 10:25	90.5	89.0	89.5	101.5	84.5	-	-	-
	着陸	F15×4機 11:24	-	-	-	-	-	-	-	-
		FA18×4機 11:42	-	-	-	-	-	78.0	97.5	88.0
測定日時:平成20年2月28日(木)										
午後	離陸	FA18×4機 13:09	90.5	92.5	90.5	104.5	82.0	-	-	-

- (注) 1 複数の同型機の連続した離着陸の場合、離陸時刻は先頭機の時刻、着陸時刻は最終機の時刻を記載。
 2 複数の同型機の連続した離着陸の場合、その最大ピーク騒音レベル(dB)を記載。

No.1 末広中公園	:千歳市末広4丁目	No.5 北新コミュニティーセンター	:千歳市新富2丁目
No.2 武道館	:千歳市あずさ1丁目	No.6 植苗南町内会集会所	:苫小牧市植苗
No.3 千歳霊園	:千歳市都	No.7 清流公園	:苫小牧市沼ノ端
No.4 青葉丘町内会館	:千歳市青葉7丁目	No.8 勇払9号公園	:苫小牧市勇払

訓練移転に伴う騒音測定地点

- | | | |
|---|------------|--------|
| ● | 北海道常時測定局 | 9局 |
| ● | 苫小牧市常時測定局 | 5局 |
| ○ | 防衛局臨時測定地点 | 3局 |
| ▲ | 苫小牧市臨時測定地点 | 3局 |
| | | 合計 20局 |



検 証 結 果

苫小牧市の意見

市内部の対応（事務処理）関係

- ・ 訓練計画の通知が2段階によりされ、地域説明会の開催など事前準備を予定どおりに行うことができた。
- ・ 直接市民との対応窓口となる現地連絡本部が設置された。
- ・ 訓練期間中のマスコミ対応について、広報広聴課に協力を求められないものか。また、測定局での対応についても考える必要がある。
- ・ 現地連絡本部からのFAXの確認が遅かった。
- ・ ホームページの掲載はスムーズであったが、公表書式等について事前に整理しておく必要がある。
- ・ 訓練が終了したことにより、ホームページの整理が必要である。
- ・ 今回、医師会、警察に協力要請をしたが、タイプⅡの訓練が行われる場合は、この他に飲食店関係の組合、タクシー協会との連携も必要となってくるのではないか。
- ・ 学校関係への情報提供も必要と考える。教育委員会にお願いすることはできないか。
- ・ 市民周知について、町内会独自の広報等を活用できないか。
- ・ 住民から航路下以外の地域でも説明会を開催できないかとの意見もあった。
- ・ 騒音測定等の人員の確保と測定方法を再検討する必要がある。
- ・ 騒音測定結果の公表について、千歳市、北海道と公表内容を統一する必要があるのではないか。
- ・ 騒音測定結果について、過去のデータとの対比も必要ではないか。
- ・ 市の臨時測定局の変更を検討する必要がある。（駐車場等の問題がある。）
- ・ 各種の連絡体制について再検討の必要がある。

- ・ 訓練終了後の市長記者会見を考えるべき。
- ・ 訓練終了後の検証のための国の連絡協議会が開催された。

現地連絡本部関係

- ・ 航空自衛隊千歳基地内へ派遣の市職員は、現地連絡本部とは接触できなかった。
- ・ 離着陸の予定時間の連絡がなかった。本部からの正式な情報提供があれば、航空自衛隊千歳基地内への市職員の派遣について再検討する必要がある。千歳市にはどのような手段で情報提供があったのか。
- ・ 航空自衛隊千歳基地内へ派遣の市職員には、2空団から離着陸の予定時間の情報提供はあったが、これを公表して良いものなのか。
- ・ 現地連絡本部からの、土・日曜日の連絡は、FAXのみで担当者に連絡がなかった。(土・日曜日の対応は、職場待機ではなく携帯電話対応としていた。)
- ・ 毎日の訓練情報等(離着陸方向、アフターバーナーの使用の有無、米軍人の外出情報等)の提供がなかった。
- ・ 現地連絡本部への苦情・問い合わせ件数は。
- ・ 国で設置した臨時騒音測定局は、同位置で継続願いたい。

現地説明会関係

- ・ 今後も開催を予定しているのか
- ・ 事前提出した質問に対する文書回答など、説明会全般について適切な対応を求める。
- ・ 説明内容について、事前に確認していることと異なるものがあった。(慣熟飛行の考え方。)

総合開発特別委員会の意見

- ・ 情報の収集及び開示を積極的に行うべきである。
- ・ 現地説明会の丁寧な対応を求める。
- ・ 現地説明会の事前質問に対する回答を求める。また、一般市民への説明会の開催要請を行うべきである。
- ・ 今回の訓練の検証をしっかりと行うべきである。
- ・ 地域説明会開催案内の方法について、全戸ポスティング等を考えるべきではないか。
- ・ 今回の訓練に参加した米軍は、岩国基地所属なのか、外来機なのか。
- ・ 嘉手納、岩国、三沢各基地の米軍の所属部隊の詳細はどうなっているのか。
- ・ 在日米軍に係るF A-18戦闘機の事故状況は。
- ・ 慣熟飛行について、現地説明会の説明と平成18年の回答内容に、解釈の差があるが、どう理解するのか。
- ・ 米軍機F A-18×1機が、千歳基地への飛来途中、トラブルで厚木基地へ戻っているがこの原因は何か。
- ・ 平成20年度の訓練計画が、未だ示されていないが遅れている理由は何か。
- ・ 離着陸時間など、事前の情報提供を求めるべきである。
- ・ 市の監視レベルは維持すべきである。
- ・ 訓練終了後の商工会議所、町内会連合会への対応はどうするのか。
- ・ 訓練期間中、現地連絡本部から安平町へは何も連絡がなかった。市として情報提供は考えないのか。
- ・ 訓練に対する女性や子供の声も聞いて欲しい。アンケートなどを考えてみてはどうか。
- ・ 現地連絡本部の騒音苦情対応や自治体との連絡体制の中で、不備はなかったのか。情報の伝達は十分であったのか。
- ・ 訓練終了後の市長記者会見は行うべきではなかったのか。

- これまでの防衛局との確認項目に沿って、検証を行うべきである。

苫小牧市航空機騒音対策協議会の意見

- 地域説明会開催案内の周知方法について
案内文書は、新聞購読者は新聞折り込みとし、それ以外はポストイングにより全戸配布したが、新聞折り込みでは気がつかない場合があるとの指摘があった。
- F A 1 8 × 1 機が厚木基地に戻った原因は何か。
千歳基地に飛来予定であった1機が、トラブルにより厚木基地に戻り、翌日飛来したが、この原因はわかっているのか。
- 米軍人の外出時の安全対策について
米軍人は、今回の訓練は外出しなかったようだが、今後予定されているタイプII訓練は期間も長いので、安全対策をしっかりとしていただきたい。
- 2月27日の訓練時の着陸方法について
自衛隊のF-15は支笏湖側から左旋回し千歳飛行場に着陸し、米軍のF A-18は太平洋側から千歳飛行場に直進し着陸しているが、この結果、騒音は米軍のF A-18が高い結果となったが、米軍機も自衛隊機と同様の着陸方法とすべきではなかったのか。

千歳市との情報交換

- ・ この度の訓練について、国は、協定の遵守をはじめとして、訓練計画の2段階による事前公表、国設置の連絡協議会の開催のほか、市民等の対応窓口となる現地連絡本部の設置など、これまで国と協議してきた事項について、着実に実行されたものと受け止めている。
- ・ 情報は現地連絡本部などから得られており、連絡本部への職員の常駐については、特に必要性を感じていない。
- ・ 騒音測定の速報値は、マスコミ等からの要請によりホームページ等に掲載した。今後も要請があれば「公表したデシベル値は、米軍の戦闘機及び共同訓練に参加したと思われる自衛隊機F-15に対する離着陸時の騒音レベルの最高値であり、一般的に騒音値は、風向き、気象条件、飛行方法などで異なり、この数値をもって直ちに騒音実態として評価することは難しい。」ことを前置きし、出すこととしている。

なお、騒音の評価はW値となるので、議会などへの報告はW値での報告となる、

- ・ 千歳市には、苦情や問い合わせはなかった。

「米軍再編にかかる千歳基地への

訓練移転に関する連絡協議会」での検証について

苫小牧市の意見（質疑）

- ・ 現地説明会で、議会或いは市町村から事前に質問書を提出しておりますが、この回答を書面により求めたい。

【回答】

当日、質問されて回答した部分以外、当日回答できなかったものについては、準備ができ次第速やかに書面で回答いたします。

- ・ 今回の訓練前に、現地説明会を開催したが、今後も開催していただきたい。また、住民の方から聞きたいとの意見もあるので、この点も含め次の開催に向けて同様に対応していただけるのか。

【回答】

説明会につきましては、今回初めてということもあり開催したが、次回以降、状況を見ながら、必要があれば説明会は開催したいと考えている。

- ・ 現地説明会で「慣熟飛行」の説明がありましたが、平成18年6月にいただいた回答と差がある。タッチアンドゴーやローパスを「慣熟飛行」という言い方をしていたのが、当日の説明では差があった。この違いについてお尋ねしたい。

【回答】

もう一度「慣熟飛行」の定義をはっきりさせて、誤解のないようにする必要があると考えております。当日の説明では一般的な広い意味での「慣熟飛行」については否定されませんでした。例えば低高度で進入するとか超音速ですとか、急上昇するといったような「慣熟飛行」については予定していないと説明があったと思いますが、急上昇、超音速、低空飛行だけが「慣熟飛行」かということ、多分そうではないと思います。

ので次回以降誤解のないように定義をはっきりさせて対応したいと考えている。

- ・ 離着陸予定時間の公表について、騒音の測定をしている市民や団体の方がいるので事前に時間を教えていただきたい。

【 回 答 】

時間はわかり次第、速やかにお伝えしていたのですが、何時に飛ぶというのは、戦闘機の運用上、事前にお知らせをするのは難しいものですが、お伝えできる段階になれば速やかに対応させていただきたいと考えている。

- ・ 米軍人の外出の有無、苦情問い合わせ件数、訓練に係る情報を毎日、正式情報として提供していただきたい。

【 回 答 】

今までも、ファックスで情報提供していたが、引き続き提供する。

- ・ 国設置の騒音測定局は、今後の訓練においても同じような場所で、継続して行っていただきたい。

【 回 答 】

次回も、測定する予定であり、具体的な内容は訓練が近づいた時点で調整させていただく。

- ・ 米軍機のFA-18×1機が、厚木基地に戻った原因は。

【 回 答 】

米側から聞いているのは、パイロットが飛行中に、もう一度戻って点検した方が良いと判断し、厚木基地へ戻り、整備員が整備点検した結果、問題はないとのことで翌朝千歳基地へ飛来したものである。

- ・ 米軍人の外出時の安全対策について、今回の訓練はタイプⅠであったが、今後タイプⅡ訓練になると、長期間になり人数も多くなる。安全対策をしっかりとお願いしたい。

【 回 答 】

今後とも、最大限努力する。

- ・ 2月27日の着陸の際、苫小牧側から千歳飛行場に着陸したが、自衛隊機と米軍機のコースが異なっていた。騒音測定結果は自衛隊機の着陸方法が低い結果となっており、米軍機も同様の着陸方法にすべきである。

【 回 答 】

飛行方法は、安全性などを基本に運用しており、ご理解願いたい。

千歳市の意見

このたびの訓練については、協定の遵守をはじめとして、訓練計画の2段階による事前通知、国の連絡協議会の開催のほか、市民との対応窓口となる現地連絡本部の設置など、今まで国と協議してきた事項について確実に実行されたと受け止めており、今回、訓練期間中の事件・事故などの報告もなく、また騒音の状況につきましても、W値換算で見ると大きな差異がないという結果になったと受け止めております。

今後も継続して訓練が実施されますが、市民の安全・安心の確保に向けて、今回と同様の対応をお願いしたい。

一点、騒音の関係で着陸時にF-15とFA-18で、若干FA-18が数値が高いとの報告がありますが、理由を分析されているのでしょうか。

【 回 答 】

特に理由というのは、今のところ判らない。

北海道の意見

今回の訓練で、北海道防衛局を初め、皆様のご尽力で事件・事故もなく、無事終了したことにお礼を申し上げます。

結果として、心配された米兵の外出もなく、また騒音についても自衛隊による訓練時を超えるような騒音というのは測定されなかったと聞いている。

また、今後、2回目、3回目と訓練が実施されていくでしょうし、今回のタイプI以外のタイプII訓練も予想されており、北海道として今後の訓練におきましては

- ① 千歳市、苫小牧市と防衛局との間の協定の遵守。
 - ② 訓練日程の早期通知など、適切な情報提供。
 - ③ 引き続き事件・事故が起きないように、防止対策に万全を期すこと。
- これらについて、引き続きよろしくお願ひしたい。

議案第1号資料

(単位：千円)

平成20年度 再編交付金事業一覧			
地区名	事業名	事業費	予算計上費目
植苗・美沢地区	植苗ファミリーセンター暖房機器取替事業費	1,100	総務費
	植苗地区排水整備工事	6,000	土木費
	小計	7,100	
沼ノ端地区	沼ノ端コミュニティセンター増築実施設計事業費	5,300	総務費
	沼ノ端コミュニティセンター駐車場整備事業費	5,932	総務費
	旧勇払川植栽工事費	4,500	土木費
	拓勇小学校留守家庭児童会拡充整備事業費	50,000	教育費
	小計	65,732	
勇払地区	勇払パークゴルフ場整備工事	35,000	土木費
	勇払公民館改修実施設計事業費	5,600	教育費
	勇払公民館改修事業費	22,300	教育費
	小計	62,900	
共通	救急車両整備事業費	20,200	消防費
	小計	20,200	
合計		155,932	

平成20年度 再編交付金予定事業

(単位：千円)

平成20年度		
	事業名	事業費
植苗・美沢地区	植苗ファミリーセンター暖房機器取替	1,100
	市道補修整備工事	6,000
	小計	7,100
沼ノ端地区	沼ノ端コミュニティーセンター増築実施設計	5,300
	沼ノ端コミュニティーセンター駐車場整備	4,500
	旧勇払川「桜」植樹(4ヵ年事業)	4,500
	拓勇小学校留守家庭児童会拡充整備	50,000
	小計	64,300
勇払地区	パークゴルフ場整備工事	35,000
	勇払パブリックセンター改修実施設計	5,000
	勇払パブリックセンター改修(ボイラー等)	12,200
	勇払パブリックセンター改修(浴室)	15,000
	小計	67,200
共通	市立病院医療機器整備	60,000
	総務省から寄贈予定の救急車両の設備	20,000
	中央図書館図書整備	5,000
	小計	85,000
	合計	223,600

再編交付金額 223,200千円

平成21年度 再編交付金予定事業

(単位：千円)

平成21年度		
	事業名	事業費
植苗・美沢地区	植苗ファミリーセンター浴室改修	10,000
	市道補修整備工事	6,000
	小計	16,000
沼ノ端地区	沼ノ端コミュニティーセンター増築工事	85,000
	旧勇払川「桜」植樹	4,500
	ウトナイ小学校留守家庭児童会拡充整備	50,000
	小計	139,500
勇払地区	勇払パブリックセンター改修(ボイラー等)	25,400
	勇払パブリックセンター改修(外壁・屋根)	35,000
	小計	60,400
共通	高規格救急車整備費	32,000
	市立病院医療機器整備	10,000
	中央図書館図書整備	5,000
	小計	47,000
	合計	262,900
再編交付金額		223,200千円

総合開発特別委員会

(追加資料)

平成20年6月26日

報告事項

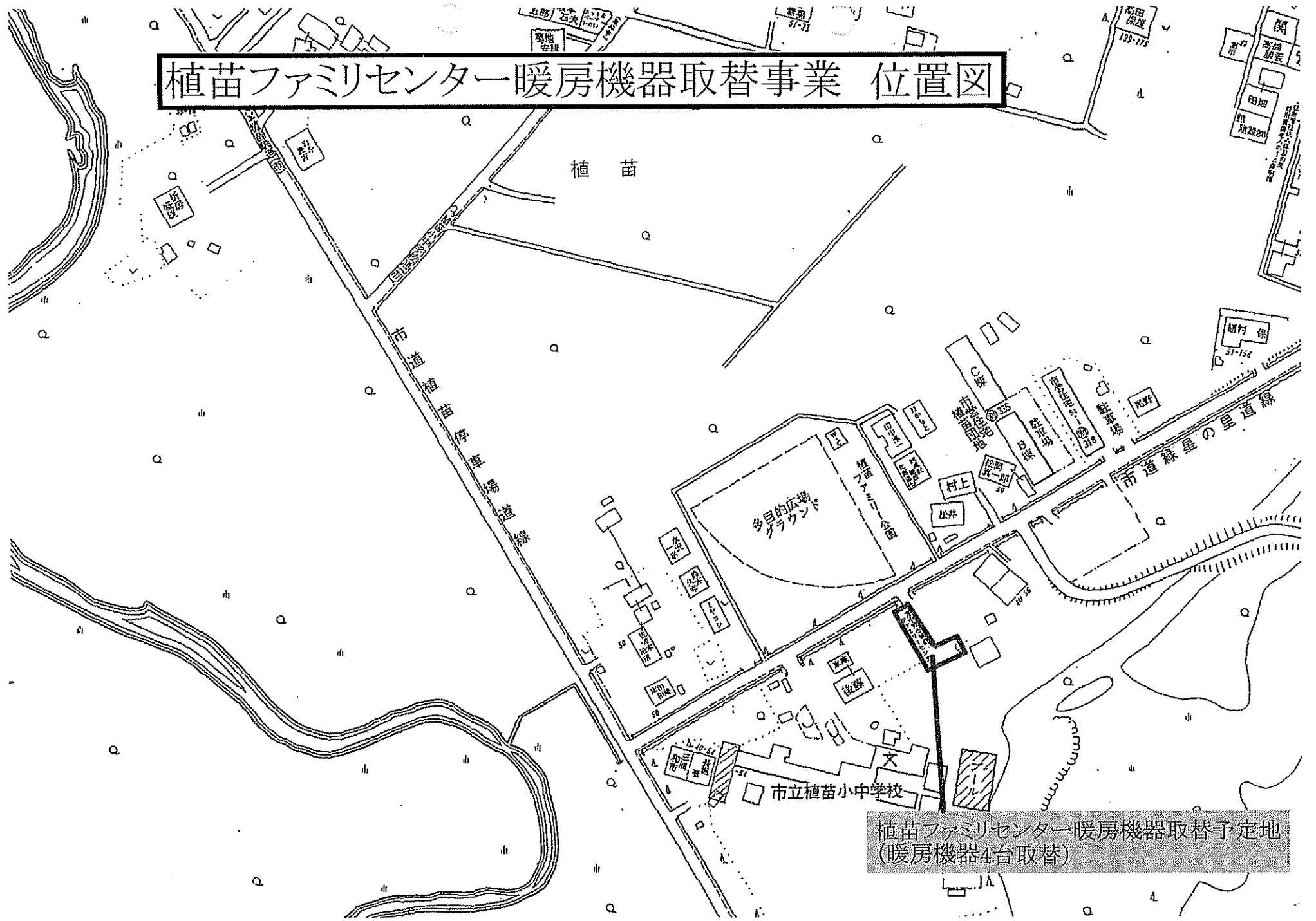
1 米軍再編に係る千歳基地への訓練移転について

- ・平成20年度再編交付金事業について・・・・・・・・・・資料1-6

(追加資料)

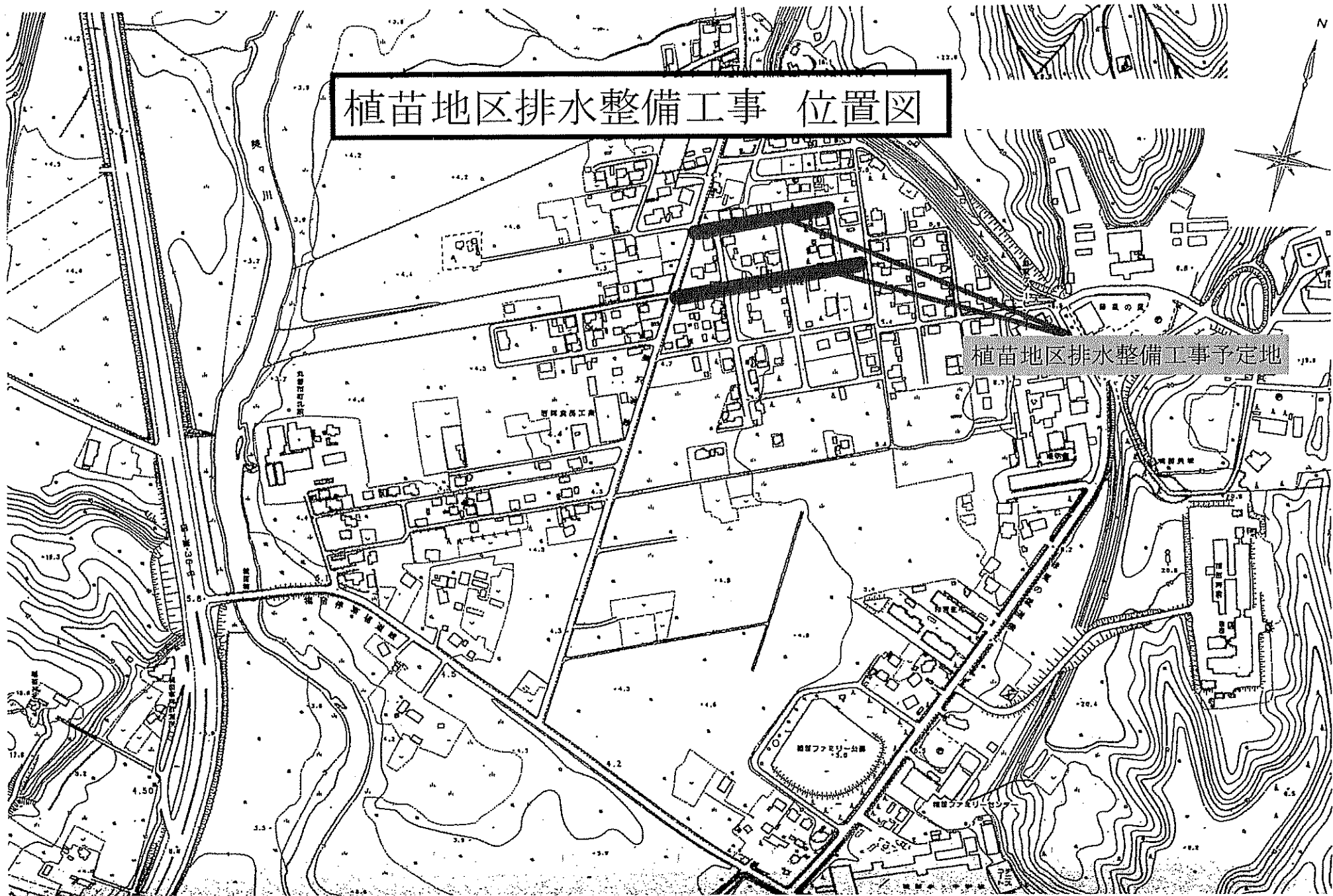
- ・植苗ファミリーセンター暖房機器取替事業 位置図・・・・・・・・P1
- ・植苗地区排水整備工事 位置図・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- ・沼ノ端コミュニティセンター増築実施設計事業
沼ノ端コミュニティセンター駐車場整備事業 位置図・・・・・・・・P3
- ・旧勇払川植栽工事 位置図・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- ・ " 拡大位置図・・・・・・・・・・・・・・・・P5
- ・拓勇小学校留守家庭児童会拡充整備事業 位置図・・・・・・・・P6
- ・ " " 拡大位置図・・・・・・・・P7
- ・勇払パークゴルフ場整備工事
勇払公民館改修実施設計事業
勇払公民館改修事業 位置図・・・・・・・・P8

植苗ファミリーセンター暖房機器取替事業 位置図



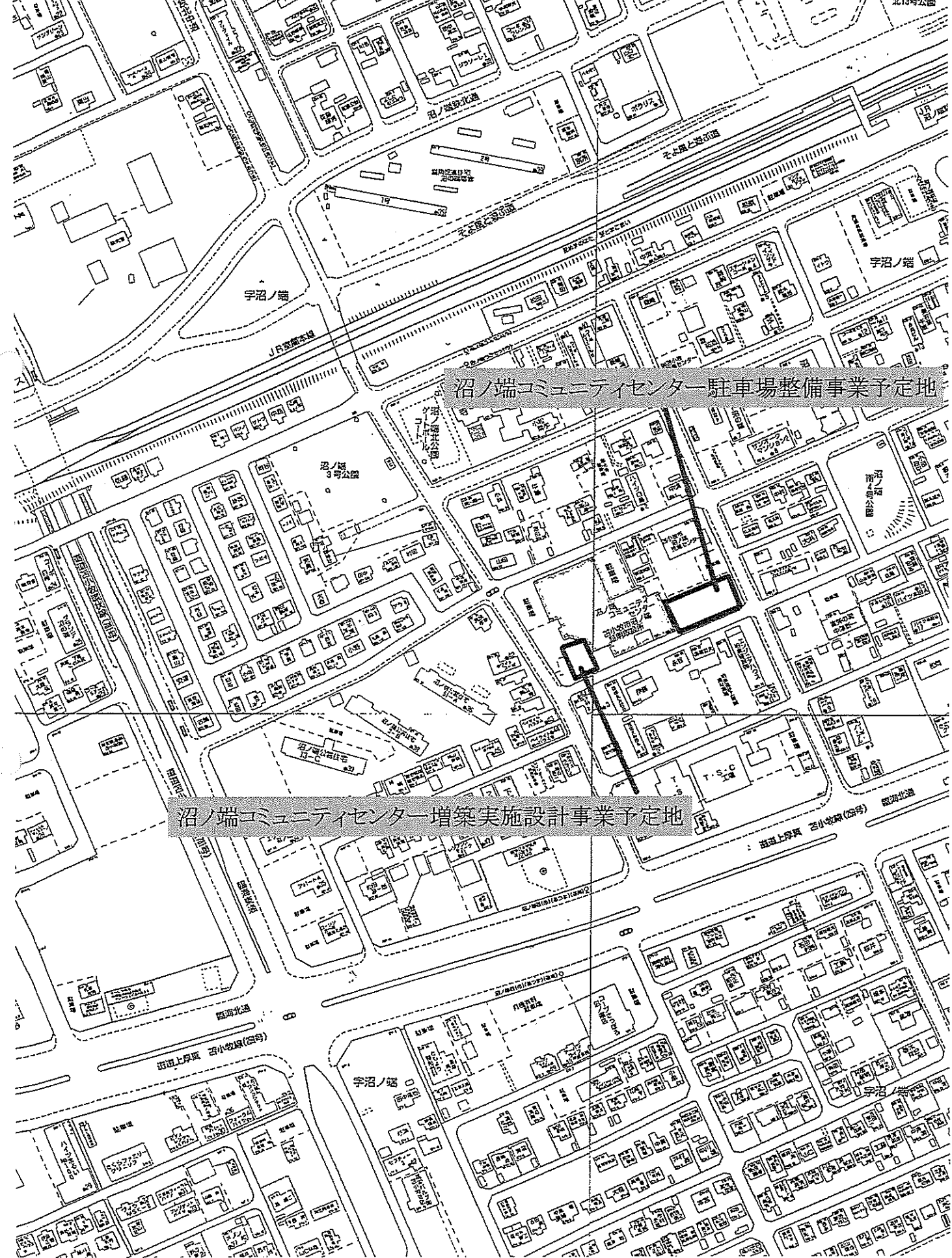
植苗ファミリーセンター暖房機器取替予定地
(暖房機器4台取替)

植苗地区排水整備工事 位置図



植苗地区排水整備工事予定地

沼ノ端コミュニティセンター増築実施設計事業
沼ノ端コミュニティセンター駐車場整備事業 位置図



沼ノ端コミュニティセンター駐車場整備事業予定地

沼ノ端コミュニティセンター増築実施設計事業予定地

旧勇払川植栽工事 拡大位置図



旧勇払川植栽工事予定地

北栄町
4丁目

北栄町
3丁目

拓勇小学校留守家庭児童会拡充整備事業 位置図

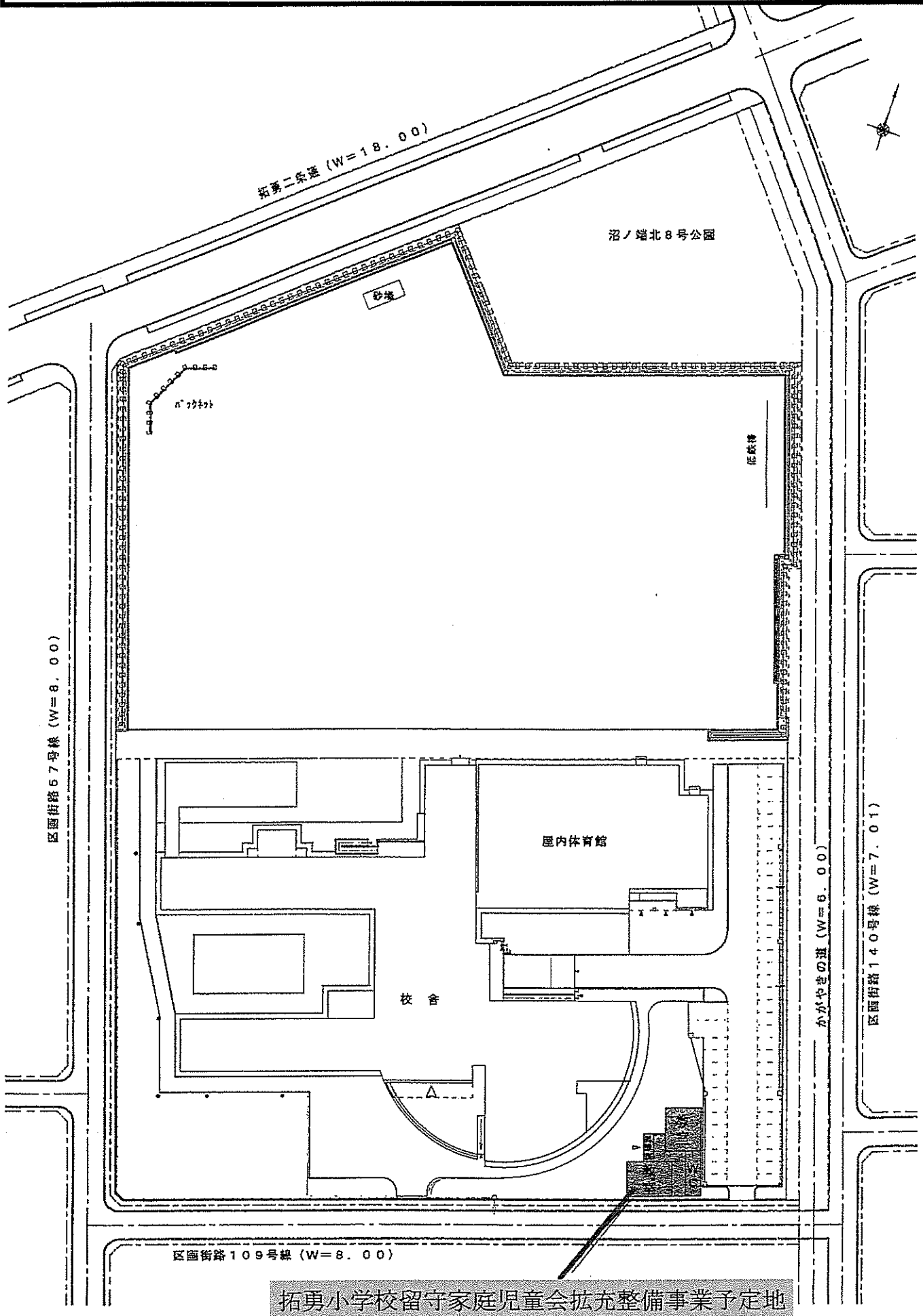


拓勇小学校

あけぼの

拓ノ地

拓勇小学校留守家庭児童会拡充整備事業 拡大位置図



勇払パークゴルフ場整備工事
勇払公民館改修実施設計事業 位置図
勇払公民館改修事業

市立勇払中学校

勇払ふるさと公園

学校法人
勇払学園
勇払幼稚園

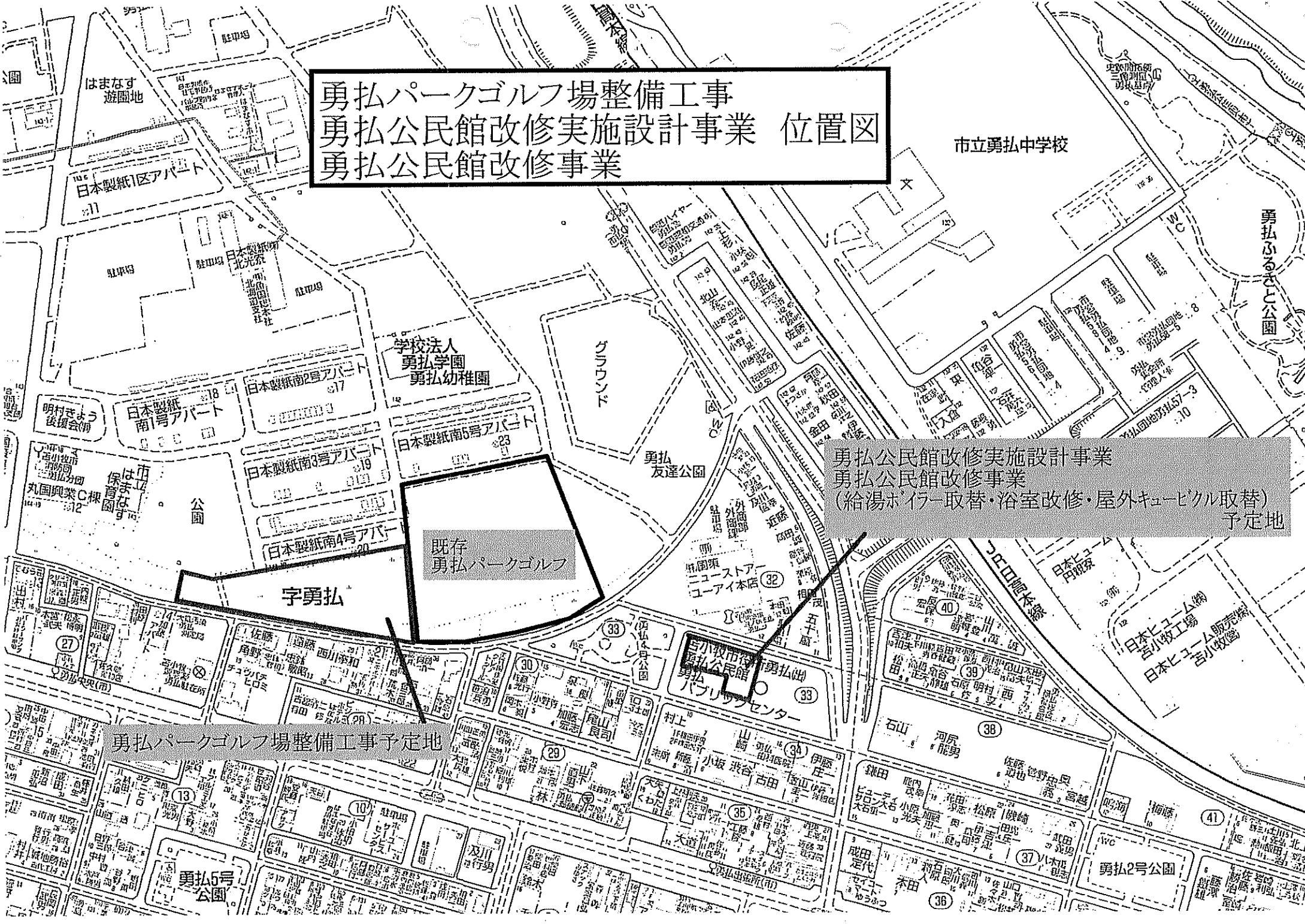
勇払
友達公園

勇払公民館改修実施設計事業
勇払公民館改修事業
(給湯ホィール取替・浴室改修・屋外キュービクル取替)
予定地

既存
勇払パークゴルフ

字勇払

勇払パークゴルフ場整備工事予定地



平成20年6月20日
防 衛 省

米軍再編に係る訓練移転（共同訓練）に関する
平成20年度計画について

米軍再編に係る訓練移転に関する平成20年度の訓練計画について、下記のとおり予定しています。

記

- 1 米軍再編に係る訓練移転については、平成20年度内にタイプⅠ訓練及びタイプⅡ訓練をあわせて10回程度計画する予定です。
- 2 なお、個々の訓練計画概要（訓練規模、訓練期日等）については、決まり次第、関係自治体等にお知らせします。

（参考）

タイプⅠ訓練 1回につき1～5機の米軍機が1～7日間参加する訓練

タイプⅡ訓練 1回につき6～12機の米軍機が8～14日間参加する訓練

訓練移転元の米軍飛行場（嘉手納、岩国及び三沢）

訓練移転先の航空自衛隊基地（千歳、三沢、百里、小松、築城及び新田原）

問い合わせ先：

防衛省地方協力局地方協力企画課連絡調整室長 松本

TEL 03-3268-3111（内線36242）

地方調整課訓練調整室防衛部員 中筋

（内線36274）